第1章 調査の目的と方法

第1節 調査の目的

本調査の目的は、大学生・大学院生の多様な採用に対するニーズの実態を把握することによって、政府の「働き方改革実行計画」に掲げられる多様な選考・採用機会の拡大に向けた検討を行う際の基礎資料を提供することである。なお、本調査は厚生労働省人材開発統括官付若年者・キャリア形成支援担当参事官室の要請に基づく調査研究の一環として実施したものである。

第2節 調査の方法

調査名:「大学生・大学院生の多様な採用に対するニーズ調査」

調査方法:Web サイトを活用したアンケート調査

調査対象:就職活動支援サイト「マイナビ」の保有するモニターに属し、2018年3月

以降に入社予定で就職活動をしている、あるいは就職活動をしていた大学

生および大学院生 5,601 人

調査期間:2017年7月5日~7月13日

主な質問項目:性別、現在および高校卒業時の居住地、大学・大学院の所在地、学年、

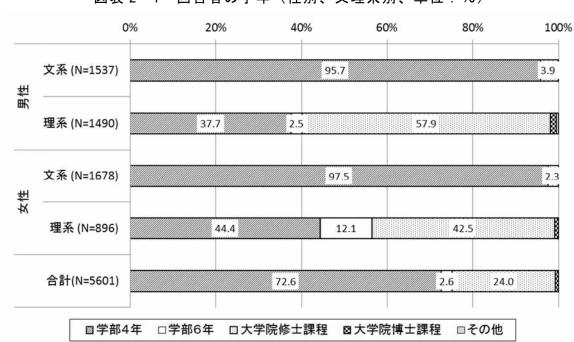
専攻、就職活動を始めた・終えた時期、就職活動開始時の希望業種と その後の変化、希望する就職先企業の種類、限定正社員の応募意向、 就職予定先企業の業種、就職予定先企業での働き方、通年募集・秋季 募集に対する希望および希望する理由、海外留学経験の有無(詳しく

は巻末の調査票を参照のこと)

第2章 調査結果の概要

第1節 回答者の概要

サンプル全体では、回答者のうち大学の学部 4 年生が約 72.6%、大学院修士課程が約 24.0%である (図表 2-1)。男女ともに文系学生は、ほぼ学部 4 年生で占められている。 男性の理系学生は、学部 4 年生が約 37.7%、大学院修士課程が約 57.9%である。また、女性の理系学生は、学部 4 年生および大学院修士課程がそれぞれ約 44.4%および約 42.5%、学部 6 年生が約 12.1%である。



図表 2-1 回答者の学年(性別、文理系別、単位:%)

男性の文系学生の主な専攻は、社会科学が約 69.8% (大学 4 年生) および約 55.0% (大学院生 (修士課程)) であり、男性の理系学生の専攻は、工学が約 65.6% (大学 4 年生) および約 66.6% (大学院生 (修士課程)) である (図表 2-2)。女性の文系学生の主な専攻は、社会科学が約 38.4% (大学 4 年生) および約 41.0% (大学院生 (修士課程))、人文科学が約 26.7% (大学 4 年生) および約 15.4% (大学院生 (修士課程))、その他が約 23.2% (大学 4 年生) および約 30.8% (大学院生 (修士課程)) である。また、女性の理系学生の主な専攻は、工学が約 26.4% (大学4 年生) および約 36.7% (大学院生 (修士課程))、理学が約 21.1% (大学 4 年生) および約 27.8% (大学院生 (修士課程)) である。

サンプル全	· / *	人文科学	社会科学		工学	農学	保健
男性	文系	14.8	69.1	连于 0.0	<u> </u>	灰丁	<u>床庭</u>
ภഥ	理系	0.0	03.1	17.9	64.2	8.2	5.5
女性	文系	26.5	38.4	0.0	0.0	0.3	0.2
) 보	理系	0.0	0.1	21.7	27.7	17.1	19.3
	性不	12.0	30.5	8.2	21.5	5.1	4.7
		商船				その他	N 4.7
男性	文系	<u>⊔וייניםו</u> 0.0	0.2	2.3	1.0	12.2	1537
<i>5</i> 11	理系	0.3	0.2	0.1	0.3	3.2	1490
女性	文系	0.0	1.8	4.9	4.5	23.4	1678
	理系	0.0	9.3	0.3	0.4	4.1	896
合計	在小	0.1	2.1	2.2	1.8	11.8	5601
うち大学4年	年生	人文科学	社会科学			農学	保健
男性	<u></u> 文系	14.4	69.8	0.0	0.0	0.1	0.1
	理系	0.0	0.2	14.1	65.6	9.8	2.1
女性	文系	26.7	38.4	0.0	0.0	0.3	0.2
	理系	0.0	0.3	21.1	26.4	19.1	6.8
∧= I		1 F A	400		4 4 0	^ A	
合計		15.9	40.8	4.0	11.6	3.4	1.1
合計				4.0_ 教育	11.6 芸術	3.4 その他	N 1.1
男性	文系						
	文系理系	商船	家政	教育	芸術	その他	N
	理系 文系	商船 0.0	家政 0.2	教育 1.9	芸術 1.0	その他 12.4	N 1471
男性女性	理系	商船 0.0 0.5	家政 0.2 0.4	教育 1.9 0.0	芸術 1.0 0.7	その他 12.4 6.6	N 1471 561
男性 女性 合計	理系 文系 理系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7	教育 1.9 0.0 4.9	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5	N 1471 561 1636
男性 女性 合計 うち大学院	理系 文系 理系 生(修士課程)	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学	家政 0.2 0.4 1.9 18.1	教育 1.9 0.0 4.9 0.5	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3	その他 12.4 6.6 23.2 7.5	N 1471 561 1636 398
男性 女性 合計	理系 文系 理系 生(修士課程) 文系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7 社会科学 55.0	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学	N 1471 561 1636 398 4066 保健
男性 女性 合計 うち大学院 男性	理系 文系 理系 生(修士課程) 文系 理系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7 社会科学 55.0 0.1	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9
男性 女性 合計 うち大学院	理系 文系 理系 生(修士課程) 文系 理系 文系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7 社会科学 55.0	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学	N 1471 561 1636 398 4066 保健
男性 女性 <u>合計</u> うち大学院 男性 女性	理系 文系 理系 生(修士課程) 文系 理系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7 社会科学 55.0 0.1 41.0 0.0	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8
男性 女性 合計 うち大学院 男性	理系 文系 理系 生(修士課程) 文系 理系 文系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7 社会科学 55.0 0.1 41.0 0.0	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0 27.8 21.0	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7 53.2	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6 10.1	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8 6.0
男性 女性 合計 うち大学院 男性 女性 合計	理系 文理系 生(修士課程) 文系 理系 文系 理系 文系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0 1.6 商船	家政 0.2 0.4 1.9 18.1 2.7 社会科学 55.0 0.1 41.0 0.0 3.7	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0 27.8 21.0	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7 53.2 芸術	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6 10.1 その他	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8 6.0
男性 女性 <u>合計</u> うち大学院 男性 女性	理系 文理系 生(修士課程) 文系 理系 文系 理系 文系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0 1.6 商船	家政	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0 27.8 21.0 教育	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7 53.2 芸術	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6 10.1 その他 6.7	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8 6.0 N
男性 女性 <u>合計</u> うち大学院 男性 女性 合計	理系 文理系 生(修士課程) 文理 文理 文理 文理 文理 文理 系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0 1.6 商船	家政	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0 27.8 21.0 教育 10.0 0.1	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7 53.2 芸術 1.7	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6 10.1 その他 6.7 1.0	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8 6.0 N
男性 女性 合計 うち大学院 男性 女性 合計	理系 文理系 生(修士課程) 文理文理 文理文理 文理系 系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0 1.6 商船 0.0 0.1	家政	数育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0 27.8 21.0 教育 10.0 0.1 5.1	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7 53.2 芸術 1.7 0.1 7.7	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6 10.1 その他 6.7 1.0 30.8	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8 6.0 N 60 862 39
男性 女性 <u>合計</u> <u>うち大学院</u> 男性 女性 合計	理系 文理系 生(修士課程) 文理 文理 文理 文理 文理 文理 系	商船 0.0 0.5 0.0 0.0 0.1 人文科学 25.0 0.0 15.4 0.0 1.6 商船	家政	教育 1.9 0.0 4.9 0.5 2.7 理学 0.0 20.4 0.0 27.8 21.0 教育 10.0 0.1	芸術 1.0 0.7 4.5 0.3 2.3 工学 0.0 66.6 0.0 36.7 53.2 芸術 1.7	その他 12.4 6.6 23.2 7.5 15.5 農学 0.0 7.4 0.0 18.6 10.1 その他 6.7 1.0	N 1471 561 1636 398 4066 保健 1.7 3.9 0.0 11.8 6.0 N

図表 2-2 回答者の専攻(性別、文理系別、単位:%)

図表 2-3 によれば、文系の学生は、現在東京圏(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)に居住している割合(もっとも割合の低い男性の大学院生(修士課程)で約 36.7%、もっとも割合の高い女性の大学院生(修士課程)で 59.0%)が相対的に高い。一方、理系の学生は、現在三大都市圏以外に居住している割合(もっとも割合の低い男性の大学院生(修士課程)で約 40.3%、もっとも割合の高い女性の学部 4 年生で約 46.0%)が相対的に高い。ただし、東京圏に居住している割合(もっとも割合の低い女性の大学院生(修士課程)で約 29.4%、もっとも割合の高い男性の学部 4 年生で約 36.4%)も高い。

男性 女性 サンプル全体 文系 理系 文系 理系 東京圏 32.2 37.7 42.4 40.5 33.5 名古屋圏 8.7 9.1 8.5 6.8 8.4 大阪圏 17.7 21.7 15.4 20.2 23.7 三大都市圏以外 25.2 40.9 29.3 44.3 33.7 海外 0.1 0.1 0.0 0.0 0.1 1537 1490 1678 896 5601 男性 うち学部4年生 女性 合計 理系 文系 理系 文系 東京圏 42.7 36.4 40.0 40.0 34.9 名古屋圏 9.3 8.6 6.8 8.6 8.8 大阪圏 23.1 11.9 21.9 12.3 20.0 三大都市圏以外 25.3 42.2 29.5 46.0 31.3 海外 0.0 0.0 0.0 0.1 0.2 1471 561 1636 398 4066 うち大学院生 男性 女性 合計 理系 理系 <u>(修士課程)</u> <u>文系</u> 東京圏 36.7 29.7 59.0 29.4 30.8 名古屋圏 5.0 8.8 5.1 7.1 8.0 大阪圏 40.0 21.1 12.8 17.8 20.8 三大都市圏以外 18.3 40.3 23.1 45.7 40.3 海外 0.0 0.1 0.0 0.0 0.1 N 60 862 39 381 1342

図表 2-3 回答者の現在の居住地域(性別、文理系別、単位:%)

注:東京圏には、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が含まれる。名古屋圏には、岐阜県、愛知県、三重県が含まれる。大阪圏には、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県が含まれる。

文系の学生の大学(大学院)所在地(図表 2-4)は、東京圏である割合(もっとも割合の低い男性の大学院生(修士課程)で約35.0%、もっとも割合の高い女性の大学院生(修士課程)で約59.0%)が相対的に高い。理系の学生の大学(大学院)所在地は、三大都市圏以外にある割合(もっとも割合の低い男性の大学院生(修士課程)で約40.3%、もっとも割合の高い女性の学部4年生で約46.2%)が相対的に高い。ただし、東京圏にある割合(もっとも割合の低い男性の大学院生(修士課程)で約29.6%、もっとも割合の高い男性の学部4年生で約36.4%)も高い。

いずれの学生も、高校卒業時の居住地域(図表 2-5)が三大都市圏以外である割合(もっとも割合の低い男性・文系の大学院生(修士課程)で約 31.7%、もっとも割合の高い男性・理系の大学院生(修士課程)で約 49.0%)が相対的に高い。ただし、高校卒業時の居住地域が東京圏である割合(もっとも割合の低い男性・文系の大学院生(修士課程)で約 20.0%、もっとも割合の高い女性・文系の大学院生(修士課程)で約 33.3%)も高い。

図表 2-4 回答者の大学(大学院)の所在地域(性別、文理系別、単位:%)

サンプル全体	男性	生	女性	ŧ	合計
	文系	理系	文系	理系	
東京圏	43.6	32.1	42.0	34.0	38.5
名古屋圏	8.5	8.9	8.5	6.5	8.3
大阪圏	24.5	17.5	22.5	15.5	20.6
三大都市圏以外	23.4	41.3	27.1	44.0	32.6
海外	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
N	1537	1490	1678	896	5601
うち学部4年生	男性	生	女性	<u> </u>	合計
	文系	理系	文系	理系	
東京圏	44.1	36.4	41.5	35.4	41.1
名古屋圏	8.6	9.1	8.6	6.5	8.5
大阪圏	23.9	11.1	22.7	11.8	20.4
三大都市圏以外	23.4	43.3	27.2	46.2	29.9
海外	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
N	1471	561	1636	398	4066
うち大学院生	男性	生	女性	±	合計
(修士課程)	文系	理系	文系	理系	
東京圏	35.0	29.6	59.0	29.9	30.8
名古屋圏	5.0	8.7	5.1	6.8	7.9
大阪圏	40.0	21.3	12.8	18.4	21.1
三大都市圏以外	20.0	40.3	23.1	44.9	40.2
海外	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
N	60	862	39	381	1342

注:東京圏には、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が含まれる。名古屋圏には、岐阜県、愛知県、三重県が含まれる。大阪圏には、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県が含まれる。

図表 2-5 回答者の高校卒業時の居住地域(性別、文理系別、単位:%)

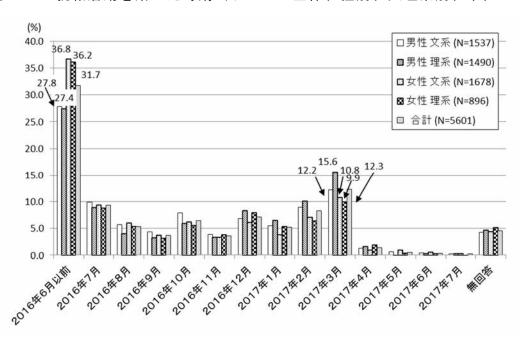
サンプル全体	男性	ŧ	女性	±	合計
	文系	理系	文系	理系	
東京圏	31.3	24.4	32.0	30.2	29.5
名古屋圏	10.7	11.0	10.3	8.4	10.3
大阪圏	19.8	16.0	17.8	15.3	17.5
三大都市圏以外	37.0	48.1	39.0	45.1	41.8
海外	1.2	0.4	0.9	1.0	0.9
N	1537	1490	1678	896	5601
うち学部4年生	男性	ŧ	女性	±	合計
	文系	理系	文系	理系	
東京圏	31.8	29.4	31.9	31.9	31.5
名古屋圏	10.9	10.7	10.3	7.5	10.3
大阪圏	19.6	13.0	18.1	14.1	17.5
三大都市圏以外	37.0	46.5	39.1	46.2	40.1
海外	0.7	0.4	0.6	0.3	0.6
N	1471	561	1636	398	4066
うち大学院生	男性	ŧ	女性	±	合計
(修士課程)	文系	理系	文系	理系	
東京圏	20.0	21.6	33.3	26.8	23.3
名古屋圏	6.7	11.4	5.1	10.8	10.8
大阪圏	28.3	17.9	7.7	15.2	17.3
三大都市圏以外	31.7	49.0	41.0	45.4	46.9
海外	13.3	0.2	12.8	1.8	1.6
N	60	862	39	381	1342

注:東京圏には、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が含まれる。名古屋圏には、岐阜県、愛知県、三重県が含まれる。大阪圏には、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県が含まれる。

第2節 就職活動開始時の状況

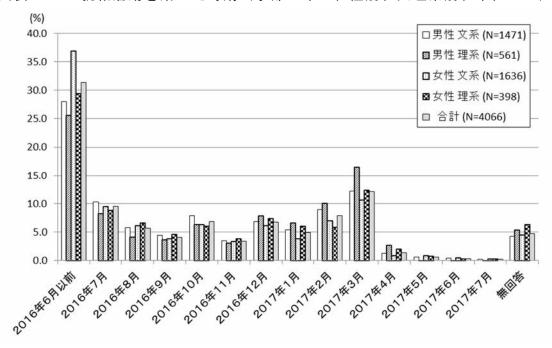
1 就職活動を始めた時期

サンプル全体(図表 2-6)では、いずれの学生も、「2016 年 6 月以前」に就職活動を始めた割合が高い(もっとも割合の低い男性の理系学生で約 27.4%、もっとも割合の高い女性の文系学生で約 36.8%、サンプル全体の合計で約 31.7%)。就職活動を始める時期の 2 つ目のピークは、「2017 年 3 月」(もっとも割合の低い女性の理系学生で約 9.9%、もっとも割合の高い男性の理系学生で約 15.6%、サンプル全体の合計で約 12.3%)にある。なお、女性の方が男性よりも相対的に早く就職活動を始める傾向がある。



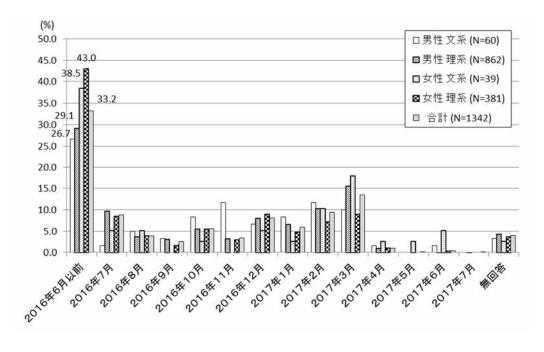
図表 2-6 就職活動を始めた時期 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

学部 4 年生では、女性の理系学生の就職活動開始時期がやや男性に近づく、つまり少し遅くなるが、概してサンプル全体と同様の傾向である(図表 2-7)。大学院生(修士課程)では、やはりサンプル全体と同様の傾向であるが、女性の学生の回答が「2016年 6 月以前」(文系:約 38.5%、理系:約 43.0%)により集中している(図表 2-8)。



図表 2-7 就職活動を始めた時期(学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

図表 2-8 就職活動を始めた時期 (大学院生 (修士課程)、性別、文理系別、単位:%)



2 就職活動開始時の希望職種

サンプル全体(図表 2-9)で見ると、文系の学生は、就職活動開始時の希望業種が「銀行・証券」(男性:約 30.1%、女性:約 29.0%)である割合が相対的に高い。男性の理系学生は、希望業種が「電子・電気・OA機器」(約 26.0%)である割合が高い。

また、女性の理系学生は、希望業種が「食品」(約45.4%)である割合が高い。

図表 2-9 就職活動開始時の希望業種 (サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油		セラミックス	鉄鋼・金属・ 鉱業
男性	文系(N=1537)	5.8	22.1	9.2	10.5	4.0	6.0	9.8	5.3	4.9	9.5
	理系 (N=1490)	6.6	20.1	8.7	3.4	0.7	8.1	22.7	16.0	10.0	11.4
女性	文系(N=1678)	3.3	26.9	6.9	16.4	8.8	7.3	5.0	9.9	3.2	5.1
	理系(N=896)	12.8	45.4	7.3	6.6	2.5	9.8	25.7	36.9	7.4	4.6
合計	(N=5601)	6.4	26.7	8.0	9.8	4.3	7.6			6.2	7.9
		機械	プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造関 連	総合商社	商社
男性	文系	10.5	4.3	8.6	12.2	6.6	7.2	10.6	4.6	16.6	19.6
	理系	19.5	11.8	26.0	20.7	15.8	5.1	5.3	4.5	3.5	3.7
女性	文系	6.4	1.6	5.2	6.4	6.6	16.2	8.9	4.9	15.0	19.1
	理系	6.8	4.7	7.6	7.5	11.6	7.5	4.0	3.6	3.9	6.7
合計		11.1	5.6	12.0	11.9	9.8		7.6	4.5	10.6	13.2
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行•証券	信金·労金· 信組	クレジット・信 販・リース・ その他金融	生保・損保	不動産	鉄道·航空	陸運·海運· 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	10.4	5.3	30.1	12.9	10.6	13.7	14.8	21.7	10.7	11.9
	理系	1.1	0.9	4.4	1.2	1.1	2.6	2.6	11.8	2.8	11.7
女性	文系	13.4	8.0	29.0	14.5	9.7	13.5	12.6	18.4	7.2	6.2
L	理系	3.9	3.6	5.2	1.5	0.7	2.9	2.8	6.1	1.8	6.4
合計		7.8	4.7	18.9	8.4	6.2					9.3
		レストラン・ 給食・フード サ <i>ー</i> ビス	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容		冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	ス(派遣・紹
男性	文系	2.0	10.0	1.3	2.2	0.5	4.5	1.9	2.5	9.4	5.6
	理系	0.5	0.8	3.3	0.2	0.2	1.1	0.1	0.9	6.8	1.3
女性	文系	3.0	19.6	5.2	4.5	1.5	7.1	6.8	2.4	7.2	8.6
	理系	3.8	2.3	16.1	2.0	0.9	1.8	1.2	1.5	5.4	1.5
合計		2.2		5.4	2.3	0.8	3.9	2.8	1.9	7.4	4.7
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁· 公社·団体	これら以外の その他	特に決めて いなかった
男性	文系	6.6	13.1	5.0	6.5	11.3	11.2	4.7	18.8	1.2	3.6
	理系	2.1	23.0	6.0	12.6	2.7	2.0	0.7	11.9	0.5	1.4
女性	文系	12.3	11.1	4.0	5.4	13.9	19.7	8.9	16.2	0.8	4.1
L	理系	2.9	11.8	3.1	4.8	4.2	4.7	2.2	15.2	1.0	1.2
合計		6.5	14.9	4.7	7.5	8.7	10.2	4.5	15.6	0.9	2.8

大学 4 年生の就職開始時の希望業種(図表 2-10)で相対的に割合が高いのは、文系の学生で「銀行・証券」(男性:約 30.1%、女性:約 29.4%)、男性の理系学生で「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」(約 31.6%)、女性の理系学生で「食品」(約 52.0%)である。

図表 2-10 就職活動開始時の希望業種

(学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品∙化粧品	セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系(N=1471)	5.8				4.2					
	理系(N=561)	9.4		14.1	5.2	1.2			5.9		
女性	文系(N=1636)	3.4	27.4	7.0	16.7	8.9	7.2	5.0	9.7	3.2	5.1
	理系 (N=398)	15.8	52.0	11.3	9.3	3.8	6.0	16.3	23.9	2.8	3.3
合計	(N=4066)	6.3	26.8	9.2	12.2	5.7	6.3			4.0	7.1
		機械	プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造関 連	総合商社	商社
男性	文系	10.7	4.5	8.6	12.0	6.5	7.3	11.0	4.8	16.5	19.9
	理系	19.1	11.1	22.6	19.4	11.2	4.6	6.2	4.3	4.6	6.2
女性	文系	6.4	1.6	5.1	6.2	6.5	16.1	8.9	4.9	14.8	19.1
	理系	6.0	3.5	5.0	6.0	8.0	6.3	6.0	2.8	6.8	11.3
合計		9.6	4.1	8.8	10.1	7.3	10.4	9.0	4.6	13.2	16.8
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・信 販・リース・ その他金融	生保・損保	不動産	鉄道·航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	10.7	5.4	30.1	13.1	10.7	14.0	15.2	22.1	10.9	12.2
	理系	2.7	2.1	6.1	2.3	1.4	3.6	3.9	12.8	4.5	10.2
女性	文系	13.2	8.0	29.4	14.7	9.8	13.7	12.7	18.5	7.3	6.2
	理系	7.8	6.3	9.5	3.0	1.5	5.3	4.0	6.3	1.5	4.5
合計		10.3	6.1	24.5	11.3	8.1	11.6	11.5			
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメ ント・レジャー		専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	
男性	文系	2.1	10.3	1.3	2.2	0.5	4.5	1.9	2.5	8.4	5.5
	理系	1.1	1.4	1.8	0.4	0.4	2.0	0.0	1.6	5.9	2.1
女性	文系	3.1	19.9	5.2	4.5	1.6	7.2	6.8	2.4	6.6	8.5
	理系	8.0	3.8	11.1	3.8	1.8	3.5	2.0	1.0	3.8	1.5
合計		3.0	12.3	3.9	3.0	1.1	5.1	3.6	2.2	6.9	5.9
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)		官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	特に決めて いなかった
男性	文系	6.3	13.2	5.1	6.7	10.9	11.1	4.8	18.4	1.2	3.7
	理系	2.3	31.6	8.6	16.6	3.7	2.7	1.1	12.3	0.7	3.0
女性	文系	12.0	10.8	4.0	5.3	13.9	19.4	8.9	15.8	0.8	4.2
	理系	3.5	19.6	5.5	7.8	5.3	5.8	4.3	12.6	1.0	2.3
合計		7.8	15.4	5.2	7.6	10.6	12.8	5.9	15.9	0.9	3.7

大学院生(修士課程)の就職活動開始時の希望職種(図表 2-11)で相対的に割合が高いのは、文系の学生で「コンサルティング・シンクタンク・調査」(男性:約31.7%、女性:約30.8%)、男性の理系学生で「化学・石油」(約31.4%)、女性の理系学生で「食品」(約47.8%)である。

図表 2-11 就職活動開始時の希望業種

(大学院生(修士課程)、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油		セラミックス	鉄鋼・金属・ 鉱業
男性	文系(N=60)	3.3		5.0	3.3	0.0	3.3	8.3	6.7	1.7	6.7
	理系(N=862)	5.2	21.9	5.7	2.4	0.3	10.7	31.4	20.4	14.3	13.7
女性	文系 (N=39)	0.0	5.1	2.6	7.7	5.1	10.3	2.6	17.9	2.6	5.1
	理系 (N=381)	12.6	47.8	5.2	5.8	1.8	16.8	41.2	47.2	14.2	7.3
合計	(N=1342)	7.1	28.2	5.4	3.6	0.9	12.1	32.3	27.3	13.3	11.3
		機械	ジニアリング	電子・電気・ OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造関 連	総合商社	商社
男性		5.0	0.0	8.3	16.7				0.0		
	理系	21.0	13.0	29.2	22.7	19.4	5.7	5.1	5.0		2.2
女性	文系	10.3	2.6	10.3	15.4	10.3	15.4	10.3	5.1	23.1	23.1
	理系	9.7	7.3	12.3	11.3	17.8	11.0	3.1	5.0	1.6	2.9
合計		16.8	10.5	23.0	19.0	18.2	7.5	4.5	4.8	3.9	3.4
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・信 販・リース・ その他金融	生保·損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性		3.3	1.7	28.3	10.0	10.0	8.3	8.3	13.3	6.7	5.0
	理系	0.2	0.2	3.4	0.5	0.9	2.1	1.9	11.9	1.9	13.6
女性	文系	20.5	7.7	12.8	5.1	5.1	7.7	10.3	12.8	2.6	5.1
	理系	1.0	1.3	1.8	0.0	0.0	1.0	2.1	7.6	2.6	10.0
合計		1.2	0.8		0.9		2.2	2.5	10.8	2.3	11.9
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメ ント・レジャー	冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	人材サービ ス(派遣・紹 介)
男性	文系	0.0	3.3	1.7	0.0	0.0	5.0	1.7	0.0	31.7	6.7
	理系	0.1	0.3	1.3	0.1	0.1	0.6	0.1	0.5	7.1	0.8
女性	文系	0.0	7.7	5.1	7.7	0.0	2.6	7.7	5.1	30.8	15.4
	理系	0.5	1.3	3.1	0.8	0.3	0.3	0.8	2.4	7.3	0.8
合計		0.2	1.0	1.9	0.5	0.1	0.7	0.6	1.1	8.9	1.5
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	特に決めて いなかった
男性		15.0	11.7	3.3	3.3	23.3	13.3	3.3	30.0	0.0	0.0
	理系	2.0	18.4	4.5	10.1	2.2	1.6	0.6	11.4	0.3	0.3
女性	文系	23.1	23.1	2.6	5.1	15.4	30.8	7.7	30.8	2.6	2.6
<u> </u>	理系	2.6	6.3	1.3	3.1	4.2	4.2	0.5	16.8	0.8	0.5
合計		3.4	14.8	3.5	7.7	4.1	3.7	0.9	14.3	0.5	0.4

サンプル全体(図表 2-12)で見ると、就職開始時にもっとも希望していた業種で割合が高いのは、文系の学生で「銀行・証券」(男性:約9.4%、女性:約9.5%)、男性の理系学生で「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」(約13.1%)、女性の理系学生で「食品」(約19.6%)である。

図表 2-12 就職活動開始時にもっとも希望していた業種 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

		農林•水産			建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・服飾関連	繊維・紙・パルプ	化学·石油	薬品・化粧品	セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=1537)		1.0	6.1	1.0	1.1	0.5					
	理系 (N=1490)		1.5	7.4	3.2	0.7	0.1					
女性	文系 (N=1678)		0.4	6.6	0.7	2.4	0.9					
	理系(N=896)	*********	2.1	19.6	3.1	1.9	0.4			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		************
合計	(N=5601)	1	1.1	8.8	1.8	1.5	0.5				0.3	0.7
		機械		プラント・エン ジニアリング		自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造関 連	総合商社	商社
男性	文系	1	1.0	0.1	0.9	3.4	0.8	1.1	2.9	0.5	3.5	2.6
	理系	6	6.7	1.7	8.9	7.7	2.8	0.5	0.5	0.4	0.8	0.4
女性	文系	1	1.1	0.2	0.5	1.5	0.6	1.8	1.7	0.8	1.3	3 2.6
	理系	1	1.8	0.9	1.9	1.3	1.9	0.7	0.7	0.8	0.1	0.6
合計			2.7	0.7	3.1	3.6			1.5	0.6	1.6	1.7
		百貨店・ スーパー・ コンビニ		専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・信 販・リース・ その他金融	生保・損保	不動産	鉄道·航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	1	1.8	0.5	9.4	1.7	1.1	2.3	3.1	7.5	1.9	1.7
	理系	(0.1	0.0	1.1	0.1	0.0	0.9	0.5	4.1	0.5	2.6
女性	文系	1	1.4	0.8	9.5	1.3	1.4	2.7	2.4	5.4	1.6	0.7
	理系	(0.2	0.4	0.6	0.0	0.2	0.6	0.4	1.2	0.1	1.3
合計			1.0	0.5	5.8	0.9			1.7			
		レストラン・ 給食・フー サ <i>ー</i> ビス		ホテル・旅行	医療機関• 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメ ント・レジャー		専門・その他 サ <i>ー</i> ビス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	人材サービ ス(派遣・紹 介)
男性	文系	(0.0	2.3	0.1	0.4	0.1	0.7	0.2	0.5	3.3	0.7
	理系	(0.0	0.2	1.9	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	2.8	0.0
女性	文系	(0.5	5.0	1.3	1.1	0.3	1.0	0.9	0.6	1.3	1.3
L	理系	(0.8	0.3	9.8	0.2	0.2	0.3	0.0	0.1	2.0	0.3
合計		(0.3	2.2	2.5	0.5	0.2	0.5	0.3	0.3	2.4	0.6
		教育		ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)		官公庁· 公社·団体	これら以外の その他	非該当
男性			2.5	4.7	0.7	0.4	4.2	4.2	0.7	9.0		
	理系	(0.7	13.1	1.1	1.9	1.1	0.3	0.1	4.8	0.2	1.4
女性	文系	3	3.3	3.0	0.9	0.6	3.8	6.7	2.4	8.2	0.3	4.1
	理系	(0.4	6.0	0.3	0.6	0.6	1.2	0.4	6.0	0.4	1.2
合計			1.9	6.7	0.8	0.9	2.7	3.4	1.0	7.2	0.3	3 2.8

学部 4 年生が就職活動開始時にもっとも希望していた業種(図表 2-13)で割合が高いのは、文系の学生で「銀行・証券」(約 9.6%)、男性の理系学生で「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」(約 21.2%)、女性の理系学生で「食品」(約 25.6%)である。

図表 2-13 就職活動開始時にもっとも希望していた業種 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品∙化粧品	セラミックス	鉄鋼・金属・ 鉱業
男性	文系(N=1471)	1.1				0.5					
	理系(N=561)	2.9			1.1	0.4				0.0	
女性	文系(N=1636)	0.4		0.7	2.5	0.9				0.1	0.2
*******	理系 (N=398)	2.0	25.6	5.3	2.8	1.0	0.5	2.3	9.0	0.0	0.0
合計	(N=4066)	1.1	8.6	2.0	1.8	0.7	0.4			0.1	0.5
		機械	プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器		精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造関 連	総合商社	商社
男性	文系	1.0	0.1	0.9	3.3	0.7	1.1	3.0	0.5	3.5	2.7
	理系	6.6	0.9	5.3	7.0	1.6	0.9	0.4	0.5	1.1	0.9
女性	文系	1.0	0.2	0.6	1.4	0.6	1.8	1.7	0.8	1.3	2.5
	理系	2.0	0.5	0.5	0.5	2.0	0.8	0.8	0.8	0.3	1.0
合計		1.9	0.3	1.3	2.8	0.9	1.3	1.9	0.7	2.0	2.2
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行•証券	信金·労金· 信組	クレジット・信 販・リース・ その他金融	生保・損保	不動産	鉄道·航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性		1.8	0.5	9.6	1.8	1.1	2.3	3.1	7.7	2.0	1.7
	理系	0.2	0.0	1.8	0.4	0.0	0.7	0.7	5.0	0.9	2.1
女性		1.4	0.9	9.6	1.3	1.4	2.8	2.4	5.4	1.7	0.7
<u> </u>	理系	0.5	0.8	1.3	0.0	0.5	1.3	0.8	1.0	0.3	0.8
合計		1.3	0.6	7.7	1.2	1.0	2.2	2.3			
		レストラン・ 給食・フード サ <i>ー</i> ビス	ホテル・旅行	医療機関• 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメ ント・レジャー		専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	
男性	文系	0.0	2.4	0.1	0.4	0.1	0.7	0.2	0.5	2.4	0.5
	理系	0.0	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	3.2	0.0
女性		0.5	5.1	1.3	1.1	0.3	1.0	0.9	0.6	1.2	1.2
	理系	1.8	0.8	5.8	0.5	0.5	0.8	0.0	0.0	1.0	0.5
合計		0.4		1.3	0.6	0.2	0.7	0.4	0.4	1.9	0.7
		教育	ネット関連	ゲームソフト		送•新聞)	マスコミ(出 版・広告)	テインメント	公社·団体	これら以外の その他	
男性	文系	2.3		0.6	0.4	4.0	4.1	0.7	8.8		
	理系	0.9	21.2	1.6	1.4	1.6	0.4				
女性		3.1	3.0	0.9	0.6	3.9	6.6	2.4	7.9	0.2	4.2
	理系	0.3	11.3	0.5	0.8	1.0	1.5	0.8	5.0	0.5	2.3
合計		2.2	7.0	0.9	0.7	3.3	4.3	1.3	7.8	0.3	3.7

大学院生(修士課程)が就職活動開始時にもっとも希望していた業種(図表 2-14)で割合が高いのは、男性の文系学生で「コンサルティング・シンクタンク・調査」(約23.3%)、女性の文系学生で「官公庁・公社・団体」(約15.4%)である。男性の理系学生では「化学・石油」(約14.2%)であり、女性の理系学生では「薬品・化粧品」(約21.3%)である。

図表 2-14 就職活動開始時にもっとも希望していた業種 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産	食品	建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品∙化粧品	ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系(N=60)	0.0				0.0					
	理系(N=862)	0.8	7.8	1.7	0.5	0.0	0.5	14.2	6.5	0.6	2.2
女性	文系(N=39)	0.0			0.0	0.0					0.0
*******	理系 (N=381)	2.6	18.9	1.8	1.6	0.0	0.8	13.6	21.3	1.6	0.5
合計	(N=1342)	1.3	10.4	1.6	0.7	0.0				0.8	1.6
		機械	プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器		精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造関 連	総合商社	商社
男性	文系	0.0	0.0	1.7	5.0	3.3	1.7	0.0	0.0	3.3	0.0
	理系	7.2	2.4	11.1	8.6	3.8	0.3	0.6	0.3	0.7	0.1
女性	文系	2.6	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	5.1
	理系	2.1	1.6	3.7	2.6	2.4	0.8	0.8	1.0	0.0	0.0
合計		5.3	2.0	8.3	6.6	3.3	0.5	0.7	0.6	0.6	0.2
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・信 販・リース・ その他金融	生保・損保	不動産	鉄道·航空	陸運·海運· 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	1.7	0.0	3.3	0.0	1.7	3.3	1.7	1.7	0.0	1.7
	理系	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.0	0.3	3.8	0.1	3.1
女性	文系	2.6	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0
	理系	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.6	0.0	2.4
合計		0.1	0.0	0.7	0.0	0.1	0.8	0.4		0.1	2.8
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメ ント・レジャー		専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	人材サービ ス(派遣・紹 介)
男性	文系	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.3	1.7
	理系	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	2.6	0.0
女性	文系	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	7.7	5.1
	理系	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	3.4	0.0
合計		0.0		0.7	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	3.9	0.2
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント		これら以外の その他	非該当
男性	文系	6.7				8.3	6.7	0.0	15.0	0.0	
	理系	0.5	8.6	0.8	2.3	0.9	0.3	0.2	3.5	0.1	0.3
女性	文系	10.3	5.1	0.0	0.0	2.6	12.8	2.6	15.4	2.6	2.6
	理系	0.5	2.4	0.3	0.5	0.3	1.3	0.3	6.8	0.3	0.5
合計		1.0	6.6	0.7	1.6	1.1	1.3	0.3	5.3	0.2	0.4

3 就職活動開始時の希望就職先

サンプル全体(図表 2-15)で見ると、就職活動開始時の主な希望就職先は「全国規模の企業(勤務地が限定される)」(約 40.0%)、「全国規模の企業(全国転勤がある)」(約 29.5%) および「海外展開もしている企業」(約 27.3%) となっており、事業所を広域に展開している企業を希望する傾向がある。

ただし、女子学生は、「全国規模の企業(勤務地が限定される)」(文理ともに約 47.0%) および「主に特定の地域に展開する企業」(文系:約 32.7%、理系:約 29.8%)を希望する割合が高く、勤務地が限定される企業を希望する傾向がある。男性の文系学生は、「全国規模の企業(全国転勤がある)」(約 37.5%)および「全国規模の企業(勤務地が限定される)」(約 27.8%)の順に希望する割合が高く、やや傾向が異なる。

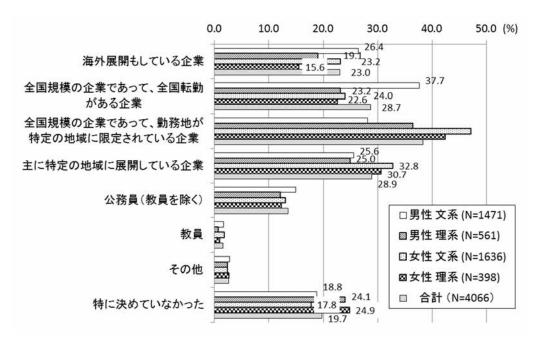
学部 4 年生の就職活動開始時の希望就職先の傾向は、サンプル全体と同様である(図表 2-16)。 ただし、サンプル全体に比べ、理系の学生が「海外展開もしている企業」

(男性:約19.1%、女性:約15.6%)、「全国規模の企業であって、全国転勤がある企業」(男性:約23.2%、女性:約22.6%)を希望する割合が低く、「主に特定の地域に展開している企業」を希望する割合(男性:約25.0%、女性:約30.7%)、「特に決めていなかった」割合(男性:約24.1%、女性:約24.9%)が高くなっている。

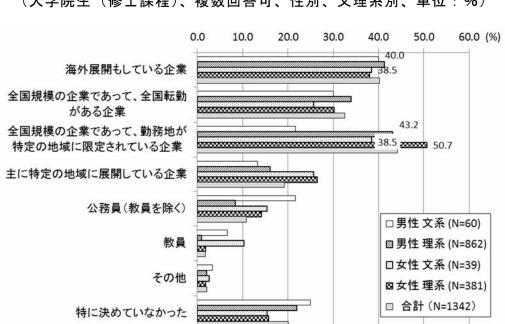
図表 2-15 就職活動開始時の希望就職先 (サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		海外展開 もしている 企業	全国規模をのあってののあります。 全国規模で全ののあります。 一般で全ののでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		主に特定の地域に展開している企業	公務員 (教員を除 く)	教員	その他	特に決め ていな かった	N
男性	文系	27.0	37.5	27.8	25.1	15.2	1.8	2.8	19.0	1537
	理系	32.8	29.7	40.5	19.8	10.1	0.8	2.3	22.5	1490
女性	文系	23.5	24.0	47.0	32.7	13.2	2.1	2.4	17.7	1678
	理系	25.4	26.0	47.0	29.8	14.3	1.2	2.5	19.8	896
	合計	27.3	29.5	40.0	26.7	13.1	1.5	2.5	19.7	5601

図表 2-16 就職活動開始時の希望就職先 (学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)



大学院生(修士課程)の就職活動開始時の希望就職先として、文系の学生が「海外展開もしている企業」(男性:約40.0%、女性:約38.5%)を希望する割合が高い(図表2-17)。ただし、女性の文系学生は、「全国規模の企業であって、勤務地が特定の地域に限定されている企業」(約38.5%)を希望する割合も同程度に高い。理系の学生は、「全国規模の企業であって、勤務地が特定の地域に限定されている企業」(男性:約43.2%、女性:約50.7%)を希望する割合が高い。



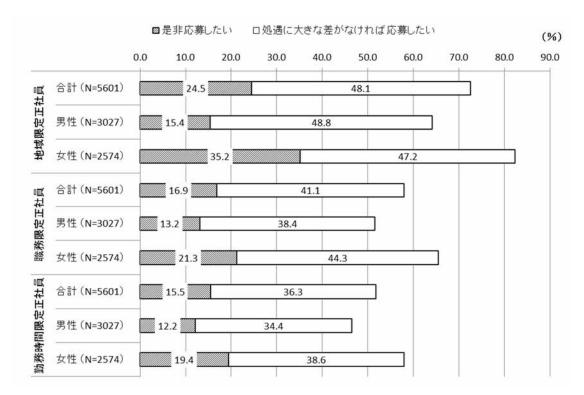
図表 2-17 就職活動開始時の希望就職先 (大学院生(修士課程)、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

4 就職活動開始時の限定正社員に対する応募意向

4.1 全般

サンプル全体の就職活動開始時の限定正社員に対する応募意向を概観すると(図表 2-18)、約72.6%が地域限定正社員、約58.0%が職務限定正社員、約51.8%が勤務時間限定正社員への応募意向がある(「是非応募したい」および「(限定のない一般の正社員と)処遇に大きな差がなければ応募したい」の割合の合計1。以下同様)。なお、女性の方が、男性よりも限定正社員への応募意向のある割合が高い。

¹ たとえば、地域限定正社員への応募意向がある学生の割合(約72.6%)は、地域限定正社員に「是非応募したい」割合(約24.5%)および「処遇に大きな差がなければ応募したい」割合(約48.1%)の合計。



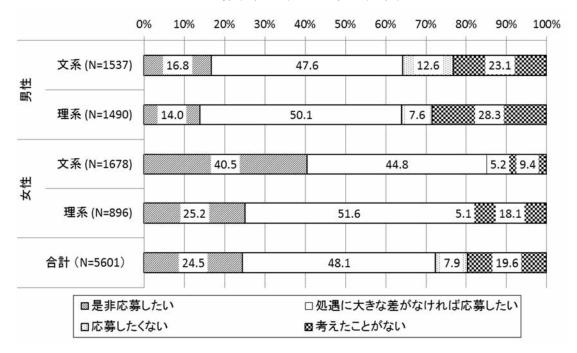
図表 2-18 就職活動開始時の限定正社員に対する応募意向(単位:%)

4.2 地域限定正社員

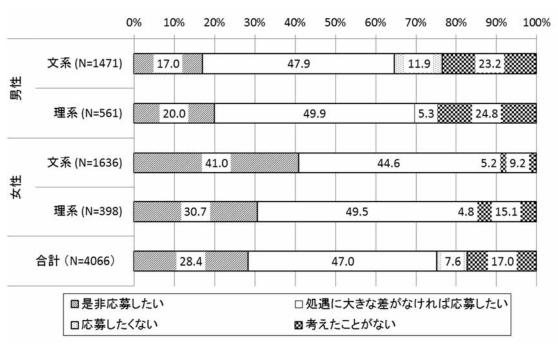
図表 2-18 で見た就職活動開始時の地域限定正社員に対する応募意向を、性別、 文理別に概観する。サンプル全体(図表 2-19)で見ると、女性の文系学生は、約 85.3%(「是非応募したい」(約 40.5%)+「処遇に大きな差がなければ応募したい」 (約 44.8%))と地域限定正社員への応募意向のある割合が相対的に高い。もっとも 応募意向のある割合が低い男性の理系学生では、約 64.1%(「是非応募したい」(約 14.0%)+「処遇に大きな差がなければ応募したい」(約 50.1%))となっている。

学部 4 年生の就職活動開始時の地域限定正社員への応募意向(図表 2-20)について、「是非応募したい」学生は、男性の学生で約 17.0%(文系)および約 20.0%(理系)、女性の文系学生で約 41.0%、女性の理系学生で約 30.7%、合計で約 28.4%である。地域限定正社員に「処遇に大きな差がなければ応募したい」学生は、もっとも割合の高い男性の理系学生で約 49.9%、もっとも割合の低い女性の文系学生で約 44.6%、合計で約 47.0%である。

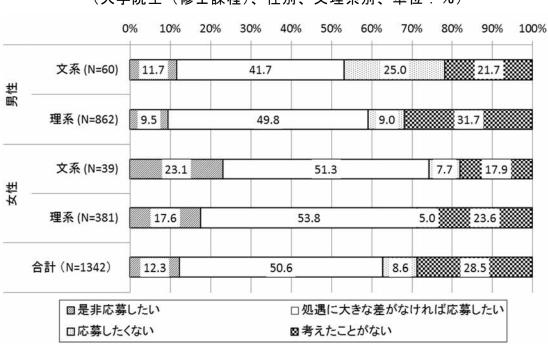
図表 2-19 就職活動開始時の地域限定正社員への応募意向 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-20 就職活動開始時の地域限定正社員への応募意向 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

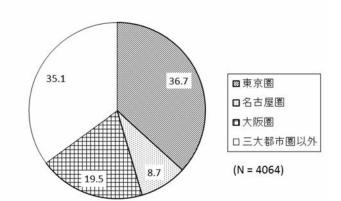


大学院生(修士課程)の就職活動開始時の地域限定正社員への応募意向(図表 2 -21)について、「是非応募したい」学生は、男性の学生で約 11.7%(文系)および約 9.5%(理系)、女性の学生で約 23.1%(文系)および約 17.6%(理系)、合計で約 12.3%である。地域限定正社員に「処遇に大きな差がなければ応募したい」学生は、もっとも割合の高い女性の理系学生で約 53.8%、もっとも割合の低い男性の文系学生で約 41.7%、合計で約 50.6%である。サンプル全体と比べると、「是非応募したい」学生の割合が低くなっている。



図表 2-21 就職活動開始時の地域限定正社員への応募意向 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

サンプル全体(図表 2-22)で見ると、地域限定正社員の応募を希望する学生の現在の居住地域は、東京圏が約 36.7%、名古屋圏が約 8.7%、大阪圏で約 19.5%であり、三大都市圏計で約 64.9%となっている。



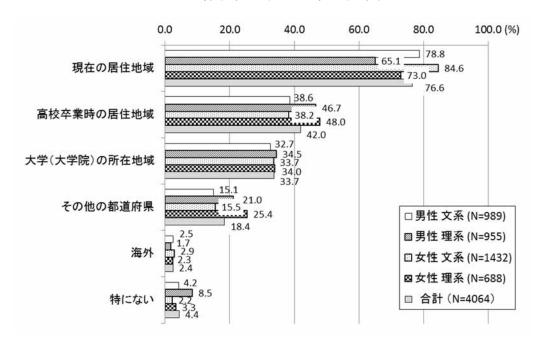
図表 2-22 地域限定正社員への応募意向がある学生の現在の居住地(単位:%)

注:東京圏には、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が含まれる。名古屋圏には、岐阜県、愛知県、三重県が含まれる。大阪圏には、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県が含まれる。

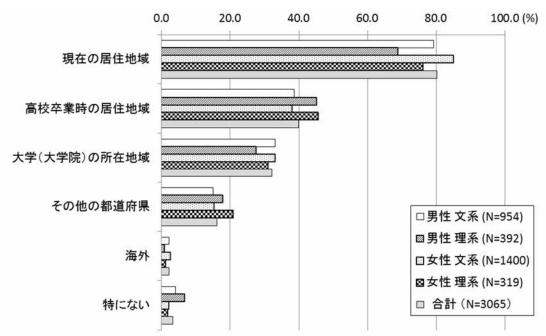
サンプル全体で見ると、就職活動開始時に地域限定正社員への応募を希望する学生が勤務地として希望する地域(図表 2-23)は、「現在の居住地域」(もっとも割合の高い女性の文系学生で約 84.6%、もっと割合の低い男性の理系学生で約 65.1%、サンプル全体の合計で約 76.6%)である割合がもっとも高く、ついで「高校卒業時の居住地域」(もっとも割合の高い女性の理系学生で約 48.0%、もっとも割合の低い女性の文系学生で約 38.2%、サンプル全体の合計で約 42.0%)となっている。

なお、学部4年生もサンプル全体と同様の傾向である(図表2-24)。

図表 2-23 就職活動開始時の地域限定正社員としての希望地域 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

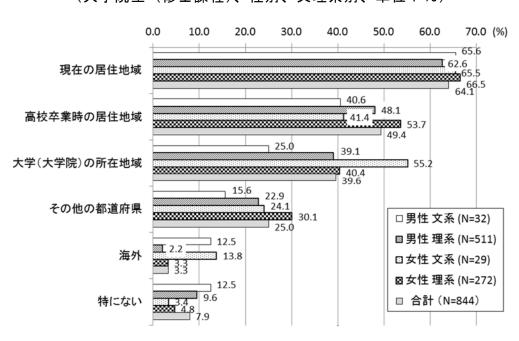


図表 2-24 就職活動開始時の地域限定正社員としての希望地域 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)



大学院生(修士課程)のうち就職活動開始時に地域限定正社員への応募を希望す

る学生が勤務地として希望する地域(図表 2-25)は、「現在の居住地域」(もっとも割合の高い女性の理系学生で約 66.5%、もっとも割合の低い男性の理系学生で約 62.6%、大学院生(修士課程)の合計で約 64.1%)である割合がもっとも高い。ただし、サンプル全体と比べ、次に割合の高い「高校卒業時の居住地域」(もっとも割合の高い女性の理系学生で約 53.7%、もっとも割合の低い男性の文系学生で約 40.6%、大学院生(修士課程)の合計で約 49.4%)、「大学(大学院)の所在地域」(もっとも割合の高い女性の文系学生で約 55.2%、もっとも割合の低い男性の文系学生で約 25.0%、大学院生(修士課程)の合計で約 39.6%)との差が縮小している。



図表 2-25 就職活動開始時の地域限定正社員としての希望地域 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

サンプル全体、学部 4 年生および大学院生(修士課程)のそれぞれの合計で見ると(図表 2-26)、いずれも就職活動開始時に地域限定正社員への応募を希望する学生が勤務地として希望する「現在の居住地域」は、「大学(大学院)の所在地域」とほぼ同じ地域ブロック(都市圏)だが(サンプル全体では約 94.6%が一致)、「高校卒業時の居住地域」とは約 2 割乖離している(サンプル全体では約 79.0%が一致)²。つまり、勤務地として希望する「現在の居住地域」が「高校卒業時の居住地域」とは異なる地域ブロックである学生の割合は約 2 割である。

なお、地域の一致度(%)は、三大都市圏は都市圏ごとに集計されたレベルで、

 $^{^2}$ 図表 $2-26\sim 2-31$ については、集計表の単位を構成比にすると数値が非常に小さくなるセルが存在し、傾向を捉えることが難しくなるため、単位を人数にしていることに注意されたい。

三大都市圏以外は都道府県レベルでそれぞれ一致している割合を示している。

図表 2-26 地域限定正社員の勤務地として希望する「現在の居住地域」 (サンプル全体、学部 4 年生、大学院(修士課程)、単位:人)

			大学(大	:学院)の所	在地域					大学(大	:学院)の所	在地域	
サン	プル全体(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外	うち!	学部4年生(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
昆	東京圏	1244	0	0	13	0	П	東京圏	1014	0	0	9	0
	名古屋圏	1	288	5	1	0		名古屋圏	1	235	3	1	0
世 世 在	大阪圏	0	0	618	32	U	ᇸ	大阪圏	0	0	465	29	0
虚の	三大都市圏以外	44	5	29	834	0	域の	三大都市圏以外	40	5	26	631	0
域	海外	0	0	0	0	0	埃	海外	0	0	0	0	0
							うた ★	学院生(修士課程)		大学(大	:学院)の所	在地域	
							757	(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
							昆	東京圏	183	0	0	4	0
							点 現	名古屋圏	0	47	1	0	0
							居住地の	大阪圏	0	0	129	3	0
							域の	三大都市圏以外	3	0	3	168	0
							坝	海外	0	0	0	0	0

			高校卒	業時の居住	主地域					高校卒	業時の居住	主地域	
サン	プル全体(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外	うち!	学部4年生(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
	東京圏	990	17	13	227	10	居品	東京圏	822	13	12	172	4
住現	名古屋圏	1	276	1	15	2	住現	名古屋圏	0	228	1	10	1
地在	大阪圏	6	22	523	98	1	地在	大阪圏	3	14	409	68	0
域の	三大都市圏以外	11	14	23	857	7	域の	三大都市圏以外	5	9	16	669	3
坝	海外	0	0	0	0	0	坝	海外	0	0	0	0	0
							うち大	学院生(修士課程)		高校卒	業時の居住	主地域	
								(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市	海外
							足	東京圏	131	3	1	46	6
								名古屋圏	1	41	0	5	1
							抽仕	大阪圏	3	7	93	28	1
							域の	三大都市圏以外	6	5	7	152	4
							*34	海外	0	0	0	0	0

注:東京圏には、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が含まれる。名古屋圏には、岐阜県、愛知県、三重県が含まれる。大阪圏には、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県が含まれる。

サンプル全体を性別、文理系別(図表 2-27)に見ると、いずれも就職活動開始時に地域限定正社員への応募を希望する学生が勤務地として希望する「現在の居住地域」は、「大学(大学院)の所在地域」とほぼ同じ地域ブロック(都市圏)だが、「高校卒業時の居住地域」とは約 2 割乖離している。つまり、前述したサンプル全体の合計の傾向と同様である。

なお、学部 4 年生を性別、文理系別に見た場合も、サンプル全体と同様の傾向になっている (図表 2-28)。

図表 2-27 地域限定正社員の勤務地として希望する「現在の居住地域」 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:人)

			大学(大	:学院)の所	在地域					大学(大	:学院)の所	在地域	
	男性・文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		男性・理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
	東京圏	316	0	0	2	0	足	東京圏	217	0	0	6	0
点 現	名古屋圏	1	76	0	0	0	点 現	名古屋圏	0	62	2	1	0
住在の	大阪圏	0	0	173	10	0		大阪圏	0	0	109	8	0
域の	三大都市圏以外	14	1	8	178	0	域の	三大都市圏以外	5	1	2	209	0
埃	海外	0	0	0	0	0	19%	海外	0	0	0	0	0
			大学(大	:学院)の所	在地域					大学(大	:学院)の所	在地域	
	女性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		女性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
R	東京圏	520	0	0	2	0	E	東京圏	191	0	0	3	0
居住地の	名古屋圏	0	115	2	0	0		名古屋圏	0	35	1	0	0
社 在	大阪圏	0	0	244	10	0	地在	大阪圏	0	0	92	4	0
域の	三大都市圏以外	19	3	16	280	0	域の	三大都市圏以外	6	0	3	167	0
埃	海外	0	0	0	0	0	坳	海外	0	0	0	0	0
			高校卒	業時の居住						高校卒	業時の居住		
	男性・文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市	海外		男性・理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市	海外

			高校卒	業時の居住	高校卒業時の居住地域					高校卒業時の居住地域				
	男性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		男性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外	
居品	東京圏	232	6	3	75	2	居品	東京圏	169	2	1	50	1	
14 現	名古屋圏	0	73	1	3	0	小玩	名古屋圏	1	56	0	8	0	
地在	大阪圏	3	4	150	25	1	地在	大阪圏	1	6	85	25	0	
域の	三大都市圏以外	2	2	5	190	2	域の	三大都市圏以外	3	5	10	199	0	
236	海外	0	0	0	0	0	1-34	海外	0	0	0	0	0	
			高校卒	業時の居住	主地域					高校卒	業時の居住	主地域		
	女性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		女性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外	
居品	東京圏	426	6	8	78	4	居品	東京圏	163	3	1	24	3	
14 現	名古屋圏	0	112	0	4	1	住玩	名古屋圏	0	35	0	0	1	
地在	大阪圏	1	8	209	36	0	地在	大阪圏	1	4	79	12	0	
域の	三大都市圏以外	1	5	3	306	3	域の	三大都市圏以外	5	2	5	162	2	
294	海外	0	0	0	0	0	1-34	海外	0	0	0	0	0	

図表 2-28 地域限定正社員の勤務地として希望する「現在の居住地域」 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:人)

			大学(大	学院)の所	在地域				大学(大学院)の所在地域				
	男性・文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市	海外		男性・理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市圏以外	海外
E	東京圏	309	0	0	1	0	E	東京圏	108	0	0	3	0
居住地	名古屋圏	1	75	0	0	0		名古屋圏	0	28	0	1	0
佐	大阪圏	0	0	163	10	0	に 在	大阪圏	0	0	25	6	0
域の	三大都市圏以外	14	1	8	174	0	域の	三大都市圏以外	3	1	0	95	0
坝	海外	0	0	0	0	0	坝	海外	0	0	0	0	0
		大学(大学院)の所在地域								大学(大	学院)の所	在地域	
	女性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		女性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
E	東京圏	504	0	0	2	0	E	東京圏	93	0	0	3	0
点現	名古屋圏	0	114	2	0	0		名古屋圏	0	18	1	0	0
居住地	大阪圏	0	0	243	10	0	地在	大阪圏	0	0	34	3	0
域の	三大都市圏以外	19	3	16	277	0	域の	三大都市圏以外	4	0	2	85	0
1-9X	海外	0	0	0	0	0	-33.	海外	0	0	0	0	0

			高校卒	業時の居住	主地域				高校卒業時の居住地域				
	男性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		男性・理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
E	東京圏	227	5	3	73	2	昆	東京圏	91	0	0	19	1
居現住在	名古屋圏	0	72	1	3	0	居現住在	名古屋圏	0	26	0	3	0
地在	大阪圏	2	4	144	23	0	地在	大阪圏	0	3	23	5	0
域の	三大都市圏以外	2	2	5	188	0	域の	三大都市圏以外	1	2	5	91	0
坝	海外	0	0	0	0	0	坝	海外	0	0	0	0	0
		高校卒業時の居住地域								高校卒	業時の居住	主地域	
	女性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		女性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
E	東京圏	418	6	8	73	1	E	東京圏	86	2	1	7	0
点 現	名古屋圏	0	111	0	4	1		名古屋圏	0	19	0	0	0
居住地	大阪圏	1	7	209	36	0	地在	大阪圏	0	0	33	4	0
域の	三大都市圏以外	1	5	3	304	2	域の	三大都市圏以外	1	0	3	86	1
*34	海外	0	0	0	00	0	19%	海外	0	0	0	0	0

サンプル全体、学部 4 年生および大学院生(修士課程)のそれぞれの合計で見ると(図表 2-29)、いずれも就職活動開始時に地域限定正社員への応募を希望する学生が勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」は、「現在の居住地域」とは地域ブロック(都市圏)が約 2 割乖離している(サンプル全体では約 76.2%が一致)。したがって、サンプル全体で見ると、地域限定正社員への応募を希望する学生の約10%(=『勤務地として「高校卒業時の居住地域」を希望する割合(約 42.0%)』×『勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」と「現在の居住地域」が一致していない割合(約 23.8%)』)が潜在的な UJ ターン就職希望者であると考えられる。

図表 2-29 地域限定正社員の勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」 (サンプル全体、学部 4 年生、大学院(修士課程)、単位:人)

			高校卒	業時の居住	主地域					高校卒	業時の居住	主地域	
サン	プル全体(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外	うち!	学部4年生(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
	東京圏	495	8	6	101	2	居品	東京圏	395	5	5	70	0
小玩	名古屋圏	0	110	0	12	1	ᄼᅑ	名古屋圏	0	81	0	7	0
地在	大阪圏	2	10	209	58	1	地在	大阪圏	1	4	144	30	0
域の	三大都市圏以外	4	11	9	326	3	域の	三大都市圏以外	2	7	3	231	2
域	海外	0	0	0	0	0	坝	海外	0	0	0	0	0
							うち大学院生(修士課程) 高校卒業時の居住地					主地域	
							757	(合計)	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
							居品	東京圏	83	3	1	26	2
							14 現	名古屋圏	0	25	0	5	1
							ᇸᄺ	大阪圏	1	6	60	26	1
							域の	三大都市圏以外	2	3	6	82	1
							294	海外	0	0	0	0	0

サンプル全体を性別、文理系別(図表 2-30)に見ると、いずれも就職活動開始時に地域限定正社員への応募を希望する学生が勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」は、「現在の居住地域」とは地域ブロックが約2割乖離している。つまり、前述したサンプル全体の合計の傾向と同様である。

なお、学部 4 年生を性別、文理系別に見た場合も、サンプル全体と同様の傾向になっている(図表 2-31)。

図表 2-30 地域限定正社員の勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:人)

			高校卒	業時の居住	主地域					高校卒	業時の居住	主地域	
	男性・文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		男性・理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
异	東京圏	122	2	1	31	0	足	東京圏	89	3	0	29	0
居住地の	名古屋圏	0	24	0	1	0		名古屋圏	0	23	0	9	0
₩ 在	大阪圏	1	3	54	11	0	地在	大阪圏	1	2	52	23	1
世の	三大都市圏以外	0	3	2	67	1	域の	三大都市圏以外	0	6	5	86	0
1-36	海外	0	0	0	0	0	130	海外	0	0	0	0	0
			高校卒	業時の居住	主地域					高校卒	業時の居住	主地域	
	女性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		女性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
昆	東京圏	202	3	3	28	1	昆	東京圏	82	0	2	13	1
居住地の	名古屋圏	0	44	0	2	0		名古屋圏	0	19	0	0	1
<u>₩</u> 在	大阪圏	0	1	74	17	0	世在の	大阪圏	0	4	29	7	0
世の	三大都市圏以外	1	2	0	103	1	域の	三大都市圏以外	3	0	2	70	1
~~	海外	0	0	0	0	0	~,	海外	0	0	0	0	0

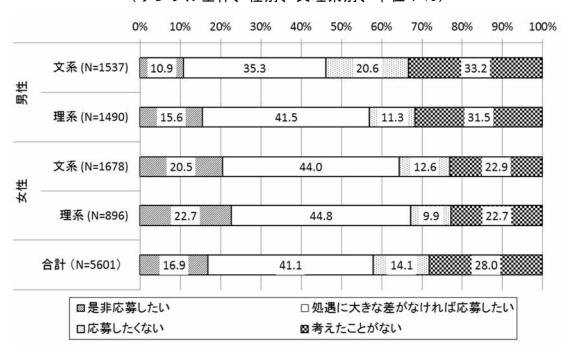
図表 2-31 地域限定正社員の勤務地として希望する「高校卒業時の居住地域」 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:人)

			高校卒	業時の居住	主地域					高校卒	業時の居住	主地域	
	男性・文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		男性・理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
异	東京圏	120	2	1	31	0	昆	東京圏	36	0	0	11	0
居住地の	名古屋圏	0	23	0	1	0		名古屋圏	0	7	0	4	0
<u>₩</u> 在	大阪圏	1	3	54	10	0	地在	大阪圏	0	0	9	3	0
域の	三大都市圏以外	0	3	2	64	0	域の	三大都市圏以外	0	2	0	36	0
1-36	海外	0	0	0	0	0	130	海外	0	0	0	0	0
		高校卒業時の居住地域								高校卒	業時の居何	主地域	
	女性·文系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外		女性·理系	東京圏	名古屋圏	大阪圏	三大都市 圏以外	海外
E	東京圏	195	3	3	26	0	E	東京圏	44	0	1	2	0
居住地の	名古屋圏	0	43	0	2	0		名古屋圏	0	8	0	0	0
<u>□</u> 在	大阪圏	0	1	73	16	0	に 在	大阪圏	0	0	8	1	0
域の	三大都市圏以外	1	2	0	99	1	域の	三大都市圏以外	1	0	1	32	1
-34	海外	0	0	0	0	0	-34	海外	0	0	0	0	0

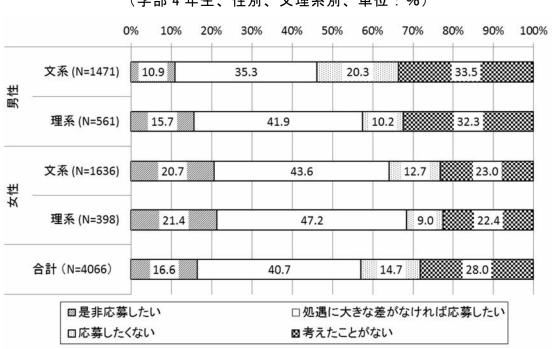
4.3 職務限定正社員

図表 2-18 で見た就職活動開始時の職務限定正社員に対する応募意向を、性別、 文理別に概観する。サンプル全体(図表 2-32)で見ると、女性の理系学生は、約 67.5%(「是非応募したい」(約 22.7%)+「処遇に大きな差がなければ応募したい」 (約 44.8%))と職務限定正社員への応募意向のある割合が相対的に高い。男性の文 系学生では、約 46.2%(「是非応募したい」(約 10.9%)+「処遇に大きな差がなければ応募したい」(約 35.3%))と応募意向のある割合が相対的に低い。

図表 2-32 就職活動開始時の職務限定正社員への応募意向 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

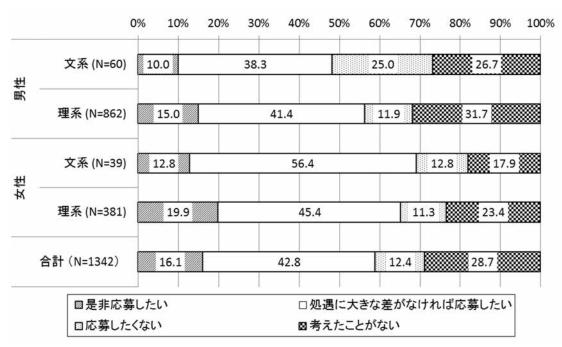


学部 4 年生の就職活動開始時の職務限定正社員への応募意向(図表 2-33)について、「是非応募したい」学生は、男性の学生で約 10.9%(文系)および約 15.7%(理系)、女性の学生で約 20.7%(文系)および約 21.4%(理系)、合計で約 16.6%である。職務限定正社員に「処遇に大きな差がなければ応募したい」学生は、もっとも割合が高い女性の理系学生で約 47.2%、もっとも割合が低い男性の文系学生で35.3%、合計では約 40.7%である。サンプル全体と同様の傾向だが、とりわけ職務限定正社員に「処遇に大きな差がなければ応募したい」女性の理系学生の割合が高い。



図表 2-33 就職活動開始時の職務限定正社員への応募意向 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

大学院生(修士課程)の就職活動開始時の職務限定正社員への応募意向(図表 2 -34)について、「是非応募したい」学生は、男性の学生で約 10.0%(文系)および約 15.0%(理系)、女性の学生で約 12.8%(文系)および約 19.9%(理系)、合計で約 16.1%である。職務限定正社員に「処遇に大きな差がなければ応募したい」学生は、男性で約 38.3%(文系)および約 41.4%(理系)、女性で約 56.4%(文系)および約 45.4%(理系)、合計では約 42.8%である。

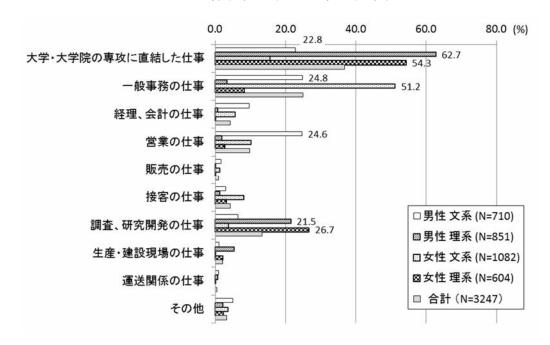


図表 2-34 就職活動開始時の職務限定正社員への応募意向 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

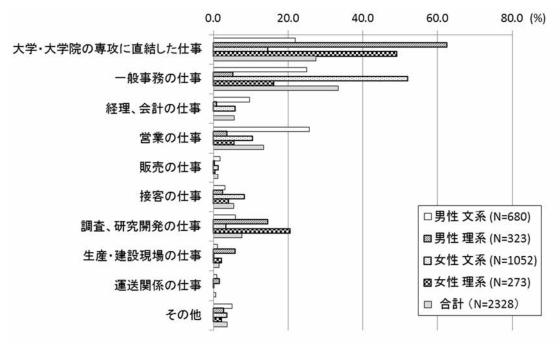
サンプル全体で見ると、就職活動開始時に職務限定正社員への応募を希望する学生が希望する職種(図表 2-35)は、理系の学生において「大学・大学院の専攻に直結した仕事」(男性:約 62.7%、女性:約 54.3%)を希望する割合が高い。男性の文系学生は、「大学・大学院の専攻に直結した仕事」(約 22.8%)以外にも、「一般事務の仕事」(約 24.6%)を希望する割合が高い。女性の文系学生は、「一般事務の仕事」(約 51.2%)を希望する割合が高い。

なお、学部4年生もサンプル全体と同様の傾向である(図表2-36)。

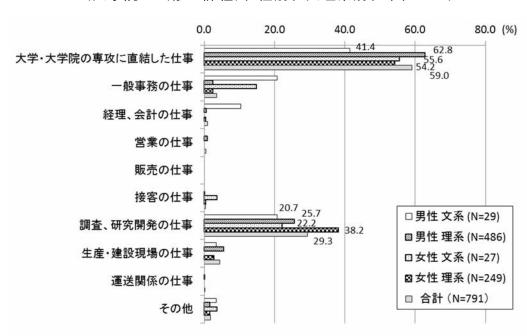
図表 2-35 就職活動開始時の職務限定正社員としての希望職種 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-36 就職活動開始時の職務限定正社員としての希望職種 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)



大学院生(修士課程)のうち就職活動開始時に職務限定正社員への応募を希望する学生が希望する職種(図表 2-37)は、「大学・大学院の専攻に直結した仕事」(もっとも割合が高い男性の理系学生で約 62.8%、もっとも割合が低い男性の文系学生で約 41.4%、大学院生(修士課程)の合計で約 59.0%)の割合が高い。次に希望割合が高いのは、「調査、研究開発の仕事」(もっとも割合が高い女性の理系学生で約 38.2%、もっとも割合が低い男性の文系学生で約 20.7%、大学院生(修士課程)の合計で約 29.3%)であり、その他の職種の希望は少ない。



図表 2-37 就職活動開始時の職務限定正社員としての希望職種 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

サンプル全体(図表 2-38)で見ると、就職活動開始時に職務限定正社員への応募を希望する学生のうち職種として「大学・大学院の専攻に直結した仕事」を希望する学生の専攻は、男性の文系学生で「社会科学」が約 62.3%、男性の理系学生で「工学」が約 67.6%と割合が高い。一方、女性の文系学生で「社会科学」、女性の理系学生で「工学」がそれぞれ約 27.2%および約 31.7%とやはり相対的に割合は高いが、男性に比べて専攻が分散している。

なお、学部 4 年生でも、サンプル全体と同様の傾向であるが、より特定の専攻に 集中している(図表 2-39)。

大学院生(修士課程)(図表 2-40)では、就職活動開始時に職務限定正社員への 応募を希望する学生のうち職種として「大学・大学院の専攻に直結した仕事」を希 望する学生の専攻は、男性の理系学生で「工学」が約 68.5%と割合が高い。一方、女性の理系学生で「工学」が約 40.0%と相対的に割合は高いが、サンプル全体と同様、男性に比べて専攻が分散している。

図表 2-38 職務限定正社員で「大学・大学院の専攻に直結した仕事」を 希望する学生の専攻(サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健
男性	文系	16.7	62.3	0.0	0.0	1.2	0.0
	理系	0.0	0.2	13.7	67.6	7.9	6.2
女性	文系	22.5	27.2	0.0	0.0	0.6	1.2
	理系	0.0	0.0	12.8	31.7	15.9	23.8
合計		5.4	12.4	9.6	39.0	8.1	9.5
		商船	家政	教育	芸術	その他	N
男性	文系	0.0	0.0	3.7	1.9	14.2	162
	理系	0.4	0.4	0.2	0.4	3.2	534
女性	文系	0.0	3.0	6.5	17.8	21.3	169
	理系	0.0	10.4	0.3	0.9	4.3	328
合計		0.2	3.4	1.6	3.2	7.5	1193

図表 2-39 職務限定正社員で「大学・大学院の専攻に直結した仕事」を 希望する学生の専攻(学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

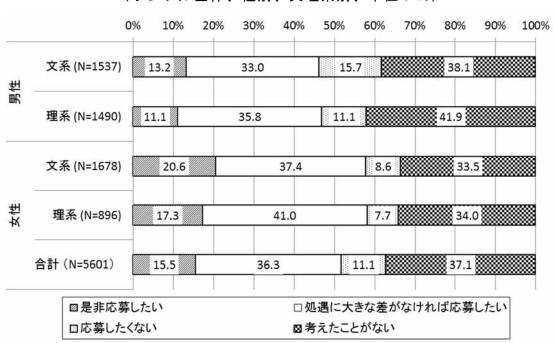
		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健
男性	文系	15.4	65.1	0.0	0.0	0.7	0.0
	理系	0.0	0.0	9.4	72.3	6.4	3.5
女性	文系	21.6	27.5	0.0	0.0	0.7	1.3
	理系	0.0	0.0	11.9	36.6	12.7	9.7
合計		8.8	21.8	5.5	30.6	5.0	3.4
		商船	家政	教育	芸術	その他	N
男性	文系	0.0	0.0	2.0	2.0	14.8	149
	理系	0.5	0.5	0.0	1.0	6.4	202
女性	文系	0.0	3.3	6.5	19.0	20.3	153
	理系	0.0	20.9	0.0	0.7	7.5	134
合計		0.2	5.3	2.0	5.5	11.9	638

図表 2-40 職務限定正社員で「大学・大学院の専攻に直結した仕事」を 希望する学生の専攻(大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

		人文科学	社会科学	理学	工学	農学	保健
男性	文系	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	理系	0.0	0.3	17.4	68.5	9.5	2.3
女性	文系	26.7	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	理系	0.0	0.0	17.8	40.0	23.7	11.1
合計		1.7	1.9	16.5	56.3	13.1	4.7
		商船	家政	教育	芸術	その他	Ν
男性	文系	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3	12
	理系	0.3	0.3	0.3	0.0	1.0	305
女性	文系	0.0	0.0	6.7	6.7	33.3	15
	理系	0.0	3.7	0.7	1.5	1.5	135
合計		0.2	1.3	1.3	0.6	2.4	467

4.4 勤務時間限定正社員

図表 2-18 で見た就職活動開始時の勤務時間限定正社員に対する応募意向を、性別、文理別に概観する。サンプル全体(図表 2-41)で見ると、女性の理系学生は、約 61.3%(「是非応募したい」(約 17.3%) + 「処遇に大きな差がなければ応募したい」(約 41.0%))と勤務時間限定正社員への応募意向のある割合が相対的に高い。男性の文系学生では、約 46.1%(「是非応募したい」(約 13.2%) + 「処遇に大きな差がなければ応募したい」(約 33.0%))と応募意向のある割合が相対的に低い。

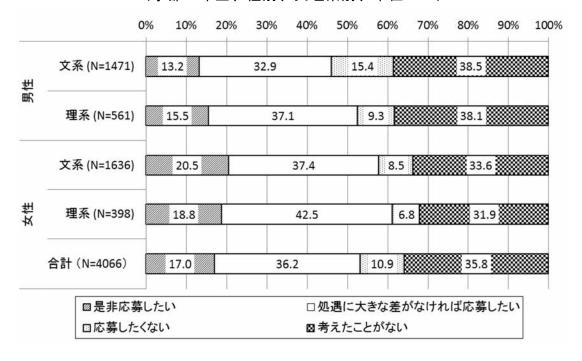


図表 2-41 就職活動開始時の勤務時間限定正社員への応募意向 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

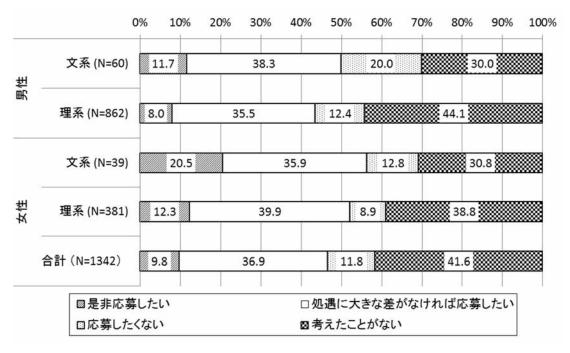
学部 4 年生の就職活動開始時の勤務時間限定正社員への応募意向(図表 2-42)について、「是非応募したい」学生は、男性の学生で約 13.2%(文系)および約 15.5%(理系)、女性の学生で約 20.5%(文系)および約 18.8%(理系)、合計で約 17.0%である。勤務時間限定正社員に「処遇に大きな差がなければ応募したい」学生は、もっとも割合の高い女性の理系学生で約 42.5%、もっとも割合が低い男性の文系学生で約 32.9%、合計で約 36.2%である。

大学院生(修士課程)の就職活動開始時の勤務時間限定正社員への応募意向(図表 2-43)について、男性の文系学生で「処遇に大きな差がなければ応募したい」の割合が約 38.3%であるのを除き、サンプル全体と比較して、「是非応募したい」、「処遇に大きな差がなければ応募したい」学生の割合が概して低くなっている。

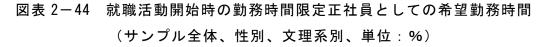
図表 2-42 就職活動開始時の勤務時間限定正社員への応募意向 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

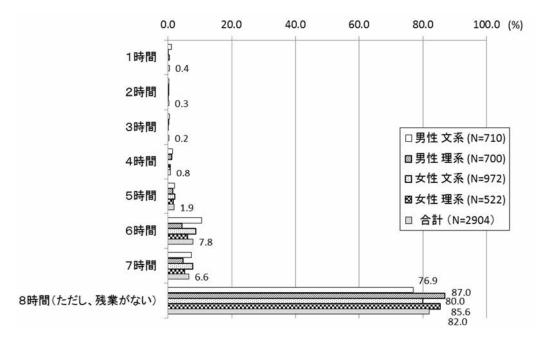


図表 2-43 就職活動開始時の勤務時間限定正社員への応募意向 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

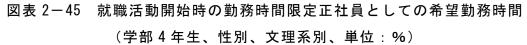


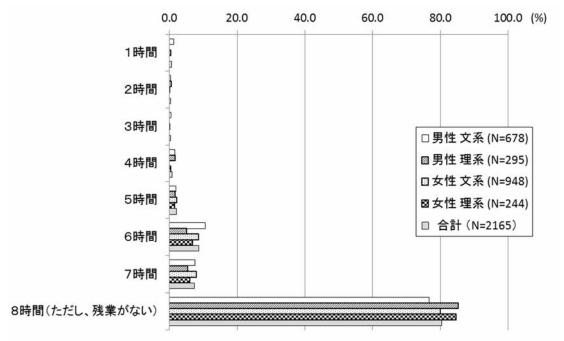
サンプル全体で見ると、就職活動開始時に勤務時間限定正社員への応募を希望する学生が希望する勤務時間(図表 2-44)は、「8 時間(ただし、残業がない)」(もっとも割合が高い男性の理系学生で約 87.0%、もっとも割合の低い男性の文系学生で約 76.9%、サンプル全体の合計で約 82.0%)の割合が高い。つまり、所定内時間の短さよりも、時間外勤務(残業)がないことを重視する傾向がある。



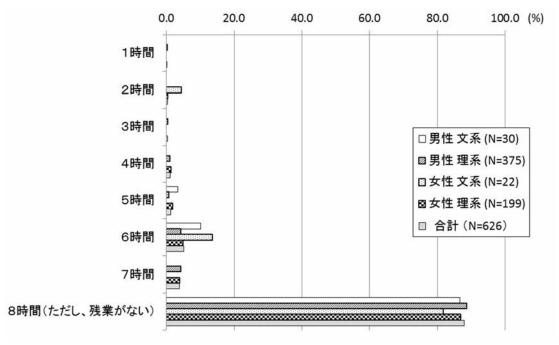


なお、学部 4 年生および大学院生(修士課程)もサンプル全体と同様の傾向である(図表 2-45、図表 2-46)。



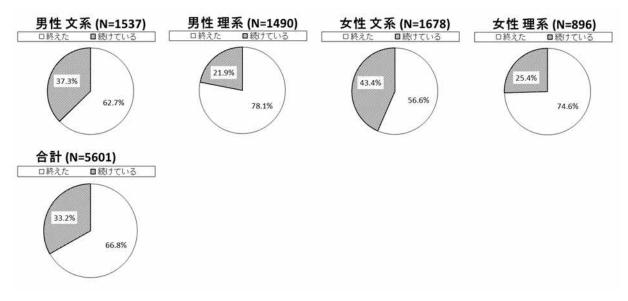


図表 2-46 就職活動開始時の勤務時間限定正社員としての希望勤務時間 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)



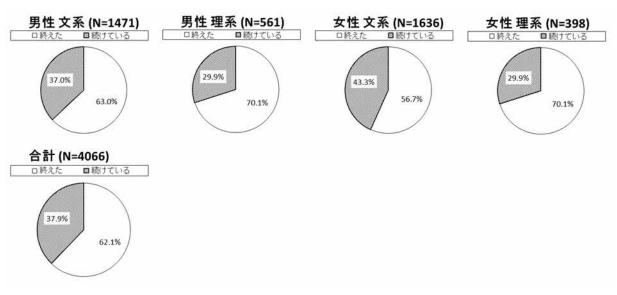
第3節 現在の就職活動の状況

サンプル全体で見ると、文系の学生の約 62.7%(男性)および約 56.6%(女性)、理系の学生の約 78.1%(男性) および約 74.6%(女性)、合計の約 66.8%が、現在就職活動を終えている(図表 2-47)。



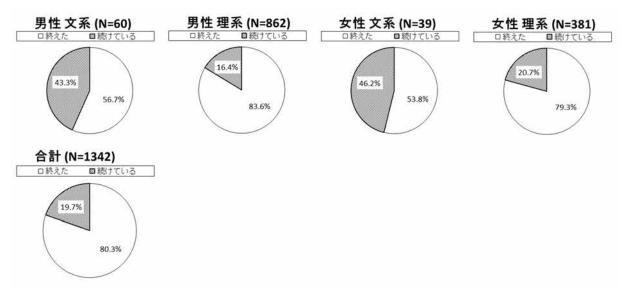
図表 2-47 現在の就職活動の状況 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

学部 4 年生はサンプル全体と同様の傾向であるが、サンプル全体に比べ、理系の学生が現在就職活動を終えている割合(約70.1%)が若干低い(図表 2-48)。



図表 2-48 現在の就職活動の状況 (学部 4年生、性別、文理系別、単位:%)

なお、大学院生(修士課程)は、サンプル全体と同様の傾向である(図表 2-49)。



図表 2-49 現在の就職活動の状況 (大学院生 (修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

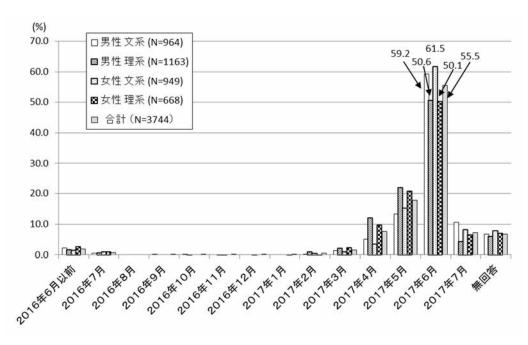
第4節 就職活動を終えた学生の状況

1 就職活動を終えた時期

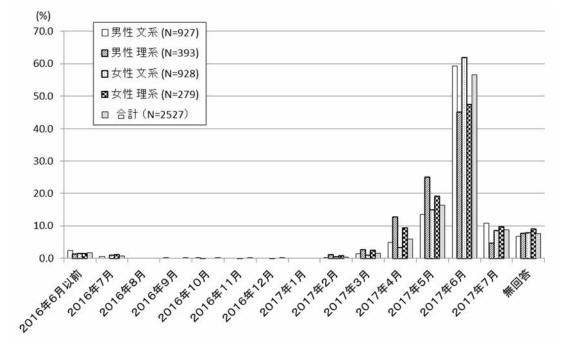
就職活動を終えた学生をサンプル全体(図表 2-50)で見ると、いずれの学生も「2017年6月」に就職活動を終えた割合が高い(もっとも割合が高い女性の文系学生が約61.5%、もっとも割合が低い女性の理系学生が約50.1%、合計では約55.5%)。理系の学生の方が、文系の学生よりも相対的に早く就職活動を終える傾向がある。

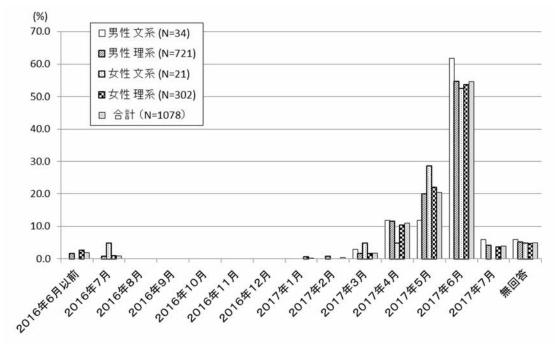
就職活動を終えた学部 4 年生および大学院生(修士課程)で見ても、就職活動を終える時期の傾向はサンプル全体と同様である(図表 2-51、図表 2-52)。

図表 2-50 就職活動を終えた時期(サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-51 就職活動を終えた時期(学部4年生、性別、文理系別、単位:%)





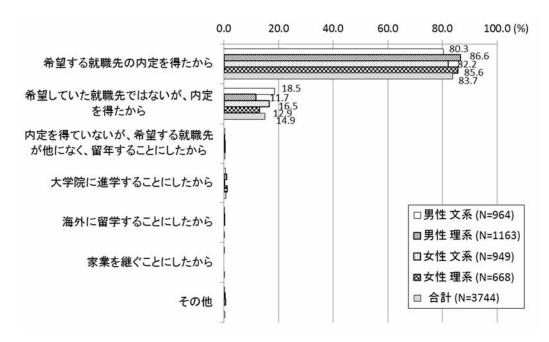
図表 2-52 就職活動を終えた時期(大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

2 就職活動を終えた理由

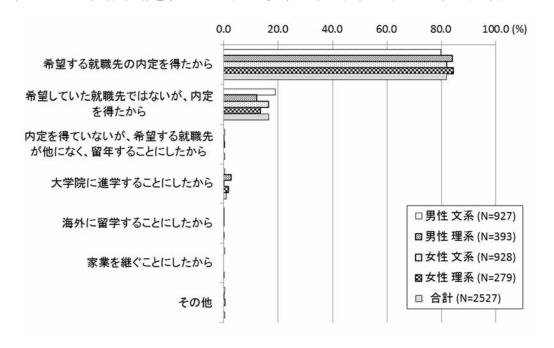
就職活動を終えた学生をサンプル全体(図表 2-53)で見ると、就職活動を終えた理由が「希望する就職先の内定を得たから」であるのは、もっとも割合が高い男性の理系学生で約 86.6%、もっとも割合が低い男性の文系学生で約 80.3%、合計では約 83.7%である。「希望していた就職先ではないが、内定を得たから」であるのは、もっとも割合が高い男性の文系学生で約 18.5%、もっとも割合が低い男性の理系学生で約 11.7%、合計では約 14.9%である。つまり、ほぼすべての学生が就職先の内定を得て就職活動を終えている。

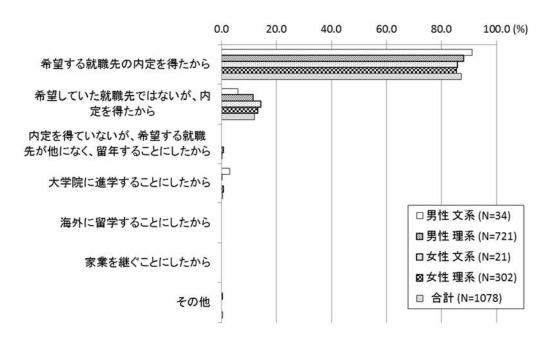
就職活動を終えた学部 4 年生および大学院生 (修士課程) で見ても、就職活動を終える理由の傾向はサンプル全体と同様である (図表 2-54、図表 2-55)。

図表 2-53 就職活動を終えた理由(サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-54 就職活動を終えた理由(学部 4年生、性別、文理系別、単位:%)





図表 2-55 就職活動を終えた理由(大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

3 就職予定先企業の業種

就職先企業の内定を得た学生をサンプル全体(図表 2-56)で見ると、就職予定先企業の業種で相対的に割合が高いのは、男性の学生で「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」(文系:約10.2%、理系:約14.6%)、女性の文系学生で「銀行・証券」(約12.0%)、女性の理系学生で「薬品・化粧品」(約14.2%)である。

図表 2-56 就職予定先企業の業種 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品•化粧 品	ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼・金属・ 鉱業
男性	文系 (N=964)	0.9			1.7	0.6					
	理系 (N=1163)	0.5			1.1	0.0					
女性	文系 (N=949)	0.2		1.5	1.9	1.8					
vivvivi	理系 (N=668)	1.5		****************	1.5	0.3		*************	****************	Rapararararararara	
合計	(N=3744)	0.7		3.2	1.5	0.7				0.7	1.7
		機械	プラント・エ ンジニアリン グ	電子·電気· OA機器	自動車• 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系	1.1	0.3	2.8	4.6	0.7	0.8	1.0	0.4	8.0	4.4
	理系	6.5	5 1.8	11.3	9.7	3.5	1.2	0.2	0.6	0.1	0.8
女性	文系	1.1	0.3	1.4	2.3	0.4	1.2	0.4	1.6	8.0	2.8
	理系	3.1	1.0	3.4	3.1	3.1	0.9	0.3	1.2	0.0	0.9
合計		3.2	2 0.9	5.2	5.3	1.9	1.0	0.5	0.9	0.5	2.2
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リー ス・その他 金融	生保・損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性		3.7				2.4					
	理系	0.3			0.3	0.1					
女性		2.7				3.0					
	理系	0.3		1.0	0.1	0.3			*********		
合計		1.8	3 1.5	6.0		1.4			2.6		
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅 行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネス クラブ・エス テ・理美容		冠婚葬祭	専門・その 他サービス		[*] 人材サービ ス(派遣・紹 <u>介)</u>
男性	文系	0.0	2.2	0.5	0.5	0.0	0.4	0.2	1.1	2.8	1.5
	理系	0.1	0.3	2.1	0.0	0.1	0.2	0.0	0.9	3.0	0.5
女性		0.6	3.7	1.1	1.6	0.3	0.5	0.5	2.5	3.4	1.7
	理系	1.0	0.6	9.0	0.4	0.1	0.1	0.0	1.8	2.1	1.0
合計		0.4		2.7	0.6	0.1	0.3	0.2	1.5	2.9	1.1
		教育	ソフトウエ ア・情報処 理・ネット関 連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)			これら以外 のその他	非該当
男性	文系	1.5	10.2	0.1	1.3	1.7	2.2	0.5	3.4	0.5	1.2
	理系	0.2	14.6	0.3	2.7	0.7	0.1	0.0	1.5	0.1	1.7
女性	文系	3.4	9.9	0.2	1.5	0.7	2.0	0.7	2.1	8.0	1.3
	理系	0.4	10.0	0.0	0.7	0.3	0.7	0.1	1.9	0.7	1.5
合計		1.4	11.5	0.2	1.7	0.9	1.2	0.3	2.2	0.5	1.4

就職先企業の内定を得た学部 4 年生の就職予定先企業の業種(図表 2-57)で相対的に割合が高いのは、「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」(男性の文系学生で約10.0%、男性の理系学生で約25.2%、女性の理系学生で約16.8%)である。また、女性の文系学生では、「銀行・証券」(約12.2%)の割合が相対的に高い。

図表 2-57 就職予定先企業の業種 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産	食品		住宅・ インテリア	アパレル・服飾関連	繊維・紙・	化学·石油	薬品•化粧 品	ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=927)	1.0	3.7	2.8	1.7	0.6	0.4	2.5	1.0	0.4	1.0
	理系 (N=393)	0.8	7.6	9.4	1.8	0.0	0.0	0.8	1.3	0.0	0.8
女性	文系(N=928)	0.2	1.9	1.5	1.9	1.8	0.3	0.6	1.5	0.3	1.3
	理系(N=279)	2.2	14.3	6.8	2.2	0.7	0.4	3.9	8.6	0.4	0.7
合計	(N=2527)	0.8		3.8	1.9	1.0				0.3	1.0
		機械	プラント・エ ンジニアリン グ	電子·電気· OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系	1.1	0.3	2.8	4.4	0.8	0.9	1.1	0.4	0.9	4.5
	理系	7.4	1.5	6.9	6.4	1.5	0.8	0.0	1.0	0.3	1.5
女性	文系	1.1	0.3	1.3	2.2	0.4	1.2	0.4	1.6	0.9	2.8
	理系	2.9	1.1	1.8	0.7	1.8	1.1	0.0	1.4	0.0	1.8
合計		2.3	0.6	2.8	3.5	0.9	1.0	0.6	1.1	0.7	3.1
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リー ス・その他 金融	生保・損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	3.8		9.3		2.5		2.8			1.6
	理系	0.3			8.0	0.0	0.8	0.8			1.5
女性	文系	2.8				3.0					
	理系	0.7		1.8	0.4			*************	********		*******
合計		2.5	2.2		2.4	2.1	4.1	2.4	3.2		
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅 行	医療機関• 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネス クラブ・エス テ・理美容	- 1 -	冠婚葬祭	専門・その 他サ <i>ー</i> ビス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	ス(派遣・紹
男性	文系	0.0	2.2	0.5	0.5	0.0	0.4	0.2	1.2	2.5	1.5
	理系	0.3	0.8	8.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.8	2.8	0.5
女性	文系	0.6	3.8	1.1	1.6	0.3	0.5	0.5	2.6	2.9	1.6
	理系	2.5	1.4	2.2	0.7	0.4	0.4	0.0	1.4	1.4	1.4
合計		0.6		0.9	0.9	0.2	0.4	0.3	1.7	2.6	1.4
		教育	ソフトウエ ア・情報処 理・ネット関 連	ゲームソフト	通信			芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外 のその他	非該当
男性	文系	1.3			1.4	1.6	1.8				
	理系	0.3	25.2	0.8	2.3	0.8	0.0	0.0	1.0	0.0	3.6
女性		3.0	9.8	0.2	1.5	0.8	2.0	0.8	1.9	0.8	1.3
ļ	理系	0.4	16.8	0.0	1.1	0.7	0.4	0.4	1.4	0.7	1.8
合計		1.7	13.1	0.2	1.5	1.1	1.5	0.5	2.3	0.5	1.7

就職先企業の内定を得た大学院生(修士課程)の就職予定先企業の業種(図表 2-58)で相対的に割合が高いのは、男性の文系学生で「銀行・証券」および「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」(いずれも約 14.7%)、男性の理系学生「電子・電気・OA機器」(約 13.9%)である。また、女性の文系学生で「コンサルティング・シンクタンク・調査」(約 23.8%)、女性の理系学生で「薬品・化粧品」(約 15.9%)の割合が相対的に高い。

図表 2-58 就職予定先企業の業種 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

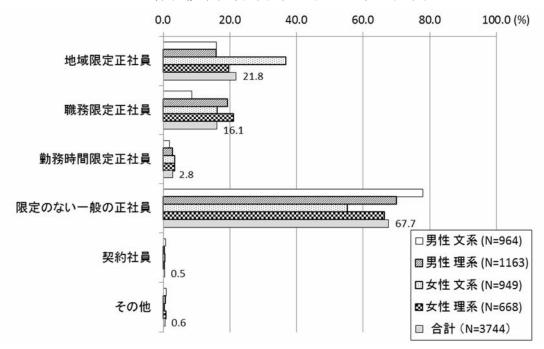
		農林·水産	食品			アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品•化粧 品	ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=34)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9
	理系 (N=721)	0.4	3.3	2.5	0.8	0.0	0.8	10.0	5.1	1.8	4.4
女性	文系 (N=21)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	理系 (N=302)	1.3	10.3	2.0	1.3	0.0	3.3	12.3	15.9	2.0	1.7
合計	(N=1078)	0.6	5.1	2.2	0.9	0.0	1.5	10.2		1.8	3.5
		機械	プラント・エ ンジニアリン グ	電子·電気· OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷· 事務機器· 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系	0.0	0.0	2.9	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	理系	6.5	2.1	13.9	12.1	4.9	1.5	0.3	0.4	0.0	0.4
女性	文系	0.0	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8
	理系	4.3	1.3	6.0	6.3	5.3	1.0	0.7	1.3	0.0	0.3
合計		5.6	1.8	11.1	10.3	4.7	1.3	0.4	0.6	0.0	0.5
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リー ス・その他 金融	生保・損保	不動産	鉄道•航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	2.9				0.0					
	理系	0.3			0.0	0.1					
女性		0.0			0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	理系	0.0	******	******	0.0	0.0	0.3		*******	******	************
合計		0.3			0.0	0.1	0.8		1.5		
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅 行	医療機関• 調剤薬局	福祉サ <i>ー</i> ビ ス	フィットネス クラブ・エス <u>テ・理美容</u>	アミューズメ ント・レ ジャー	冠婚葬祭	専門・その 他サ <i>ー</i> ビス	コンサルティ ング・シンク タンク・調査	ス(派遣・紹
男性		0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
	理系	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	1.1	3.1	0.4
女性		0.0		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		_
	理系	0.0	0.0	1.7	0.3	0.0	0.0	0.0	1.7	3.0	0.7
合計		0.0		0.8	0.1	0.0	0.2	0.0	1.2	3.7	0.6
		教育	ソフトウエ ア・情報処 理・ネット関 連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)		芸能・エンタ テインメント		これら以外 のその他	非該当
男性		5.9	14.7	2.9	0.0	2.9	11.8	0.0	0.0	0.0	2.9
	理系	0.1	9.7	0.1	2.8	0.7	0.1	0.0	1.7	0.1	0.6
女性		19.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	4.8	0.0
	理系	0.7	6.3	0.0	0.7	0.0	1.3	0.0	2.3	0.3	1.3
合計		0.8	9.0	0.2	2.0	0.6	0.8	0.0	1.9	0.3	0.8

4 就職予定先企業での働き方

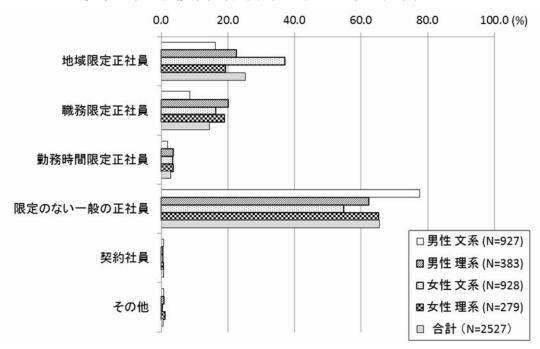
就職先企業の内定を得た学生をサンプル全体(図表 2-59)で見ると、就職予定先企業での働き方は、「限定のない一般の正社員」が約 67.7%、「地域限定正社員」が約 21.8%、「職務限定正社員」が約 16.1%、「勤務時間限定正社員」が約 2.8%となっている。

なお、就職先企業の内定を得た学部 4 年生の就職予定先企業での働き方は、サンプル全体の傾向と同様である(図表 2-60)。

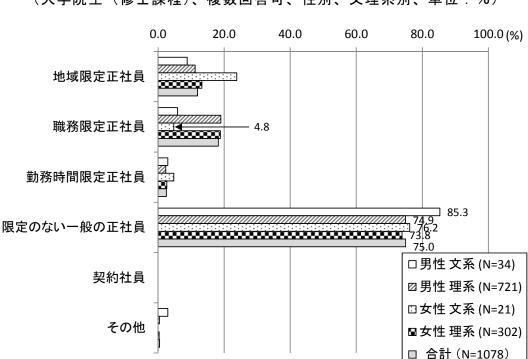
図表 2-59 就職予定先企業での働き方 (サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-60 就職予定先企業での働き方 (学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)



就職先企業の内定を得た大学院生(修士課程)の就職予定先企業での働き方(図表 2-61)は、サンプル全体の傾向と同様であるが、サンプル全体に比べ、「限定のない一般の正社員」の割合(もっとも割合が高い男性の文系学生で約 85.3%、もっとも割合が低い女性の理系学生で約 73.8%、合計では約 75.0%)が総じて高く、女性の文系学生で就職予定先企業での働き方が「職務限定正社員」(約 4.8%)である割合が低い。



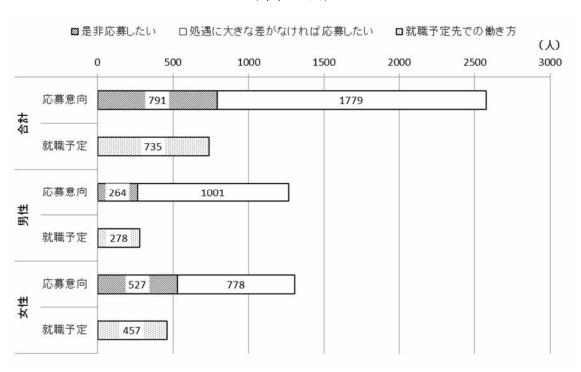
図表 2-61 就職予定先企業での働き方 (大学院生(修士課程)、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

サンプル全体(図表 2-62)で見ると、地域限定正社員への応募意向がある学生の約 28.6%(=735 人/(791 人+1,779 人))が、就職予定先企業で地域限定正社員として働く予定である。同割合は、男性のみで見ると約 22.0%、女性では約 35.0%である。

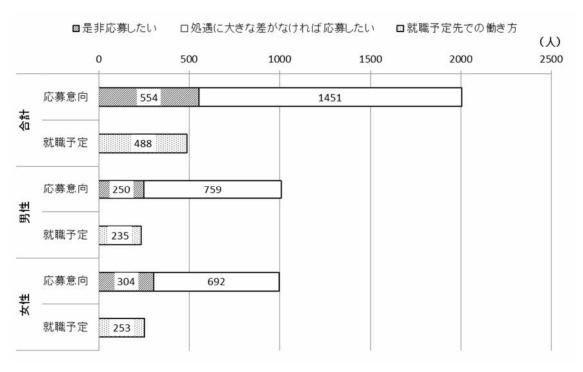
また、サンプル全体(図表 2-63)で見ると、職務限定正社員への応募意向がある 学生の約 24.3%(男性:約 23.3%、女性:約 25.4%)が、就職予定先企業で職務限定 正社員として働く予定である。

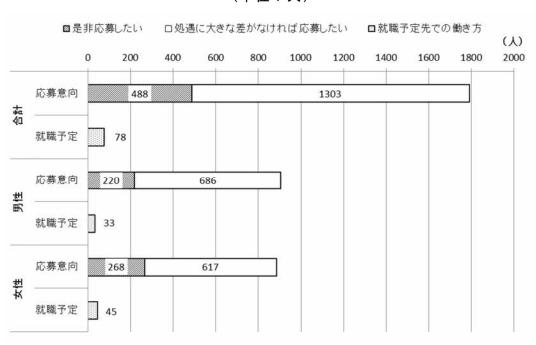
そして、サンプル全体(図表 2-64)で見ると、勤務時間限定正社員への応募意向がある学生の約 4.4% (男性:約 3.6%、女性:約 5.1%)が、就職予定先企業で勤務時間限定正社員として働く予定である。

図表 2-62 地域限定正社員への応募意向と地域限定正社員としての就職予定 (単位:人)



図表 2-63 職務限定正社員への応募意向と職務限定正社員としての就職予定 (単位:人)





図表 2-64 勤務時間限定正社員への応募意向と勤務時間限定正社員としての就職予定 (単位:人)

5 就職予定先企業での働き方は希望していたものか

就職先企業の内定を得た学生をサンプル全体(図表 2-65)で見ると、就職予定先企業での働き方が希望していた働き方である割合は、いずれの形態の正社員についても約9割と高い。働き方が希望通りではない割合(つまり、100から図表 2-65の数値を引いた値)が5%以上であるのは、男性の文系学生で「地域限定正社員」(約8.4%)および「勤務時間限定正社員」(約11.1%)、女性の文系学生ですべての形態の正社員(もっとも希望通りではない割合が高い限定のない一般の正社員で約8.2%、もっとも割合が低い勤務時間限定正社員で約6.1%)、女性の理系学生で「勤務時間限定正社員」(約13.0%)および「限定のない一般の正社員」(約5.9%)である。

サンプル全体(図表 2-66)において就職活動開始時の応募意向と就職先企業での働き方を比較すると、就職予定先企業で限定のない一般の正社員として働く予定の学生の約95.5%が、希望通りの働き方であると回答している。就職活動開始時に地域限定正社員への応募意向があった学生に絞っても、限定のない一般の正社員として働く予定の学生の約93.6%が希望通りの働き方であると回答している。希望通りである割合が高いのは、限定正社員への応募を希望する学生が、同時に限定のない一般の正社員への応募も希望していることによる。

図表 2-65 就職予定先企業での働き方は希望していたものか (サンプル全体、性別、文理系別、単位:希望通り%)

		地域	職務	勤務時間	限定のない	契約社員	その他
		限定正社員	限定正社員	限定正社員	一般の正社員		•
男性	文系	91.6	95.1	88.9	96.1	57.1	87.5
	理系	99.5	96.4	100.0	98.0	100.0	100.0
女性	文系	93.7	93.5	93.9	91.8	60.0	66.7
	理系	96.9	96.5	87.0	94.1	100.0	60.0
合計		95.1	95.5	93.4	95.5	70.6	82.6
N							
男性	文系	154	82	18	751	7	8
	理系	184	225	32	814	3	7
女性	文系	349	153	33	525	5	3
	理系	131	141	23	444	2	5
合計		818	601	106	2534	17	23

図表 2-66 就職予定先企業での働き方は希望していたものか (サンプル全体、就職活動開始時の応募意向別、単位:希望通り%)

			就職予定先企	業での働き方	
		地域	職務	勤務時間	限定のない
		限定正社員	限定正社員	限定正社員	一般の正社員
希望通り%					
全体		95.1	95.5	93.4	95.5
就職活動	地域限定正社員	95.6			93.6
開始時の	職務限定正社員		96.1		94.4
応募意向	勤務時間限定正社員			93.6	94.6
N(単位:人	.)				
全体		818	601	106	2534
就職活動	地域限定正社員	735			1593
開始時の	職務限定正社員		488		1133
応募意向	勤務時間限定正社員			78	1061

就職先企業の内定を得た学部 4 年生のうち就職予定先企業での働き方が希望していた働き方である割合(図表 2-67)は、サンプル全体の傾向と同様である。ただし、サンプル全体に比べ、男性の理系学生で「職務限定正社員」が希望通りの働き方ではないという割合が高く、約 7.6%である。女性の理系学生においても、「限定のない一般の正社員」が希望通りの働き方ではないという割合(約 7.1%)が若干高い。

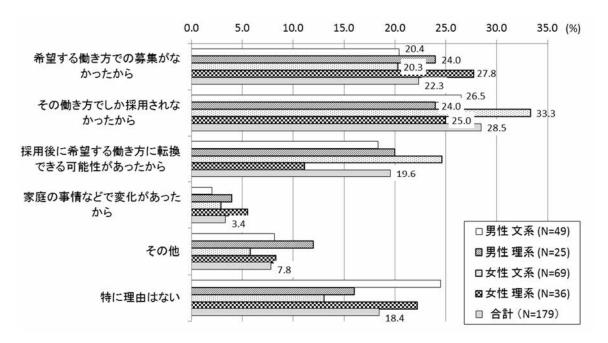
図表 2-67 就職予定先企業での働き方は希望していたものか (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:希望通り%)

		地域	職務	勤務時間	限定のない	契約社員	その他
		限定正社員	限定正社員	限定正社員	一般の正社員		
男性	文系	91.4	96.3	88.2	96.0	57.1	83.3
	理系	100.0	92.4	100.0	97.1	100.0	100.0
女性	文系	93.6	93.4	93.8	91.7	60.0	66.7
	理系	98.1	96.2	90.0	92.9	100.0	66.7
合計		94.4	94.2	93.2	94.5	68.8	80.0
N							
男性	文系	151	80	17	720	7	6
	理系	89	79	14	245	2	3
女性	文系	344	152	32	509	5	3
	理系	54	53	10	182	2	3
合計		638	364	73	1656	16	15

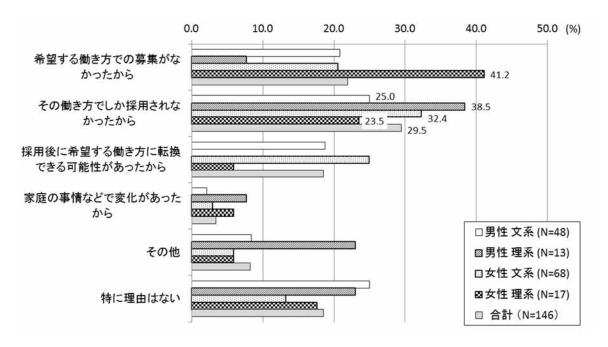
サンプルサイズが小さいため就業形態別に集計することは困難であるが、サンプル全体で見た就職予定先企業での働き方が希望と異なった理由(図表 2-68)が、「その働き方でしか採用されなかったから」であるのは、もっとも割合が高い女性の文系学生で約 33.3%、もっとも割合が低いで男性の理系学生で約 24.0%、合計では約 28.5%である。「希望する働き方での募集がなかったから」であるのは、もっとも割合が高い女性の理系学生で約 27.8%、もっとも割合が低い女性の文系学生で約 20.3%、合計では約 22.3%である。

学部 4 年生では、就職予定先企業での働き方が希望と異なった理由(図表 2-69)が、「その働き方でしか採用されなかったから」であるのは、もっとも割合が高い男性の理系学生で約 38.5%、もっとも割合が低い女性の理系学生で約 23.5%、合計では約 29.5%となっている。ただし、女性の理系学生では「希望する働き方での募集がなかったから」が約 41.2%で相対的に割合が高い。

図表 2-68 就職予定先企業での働き方が希望と異なった理由 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



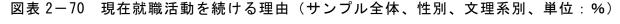
図表 2-69 就職予定先企業での働き方が希望と異なった理由 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

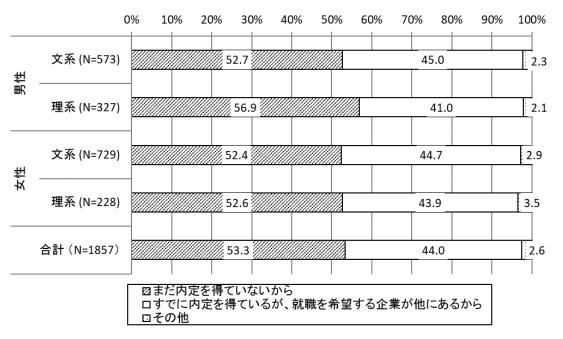


第5節 現在就職活動を続けている学生の状況

1 現在就職活動を続けている理由

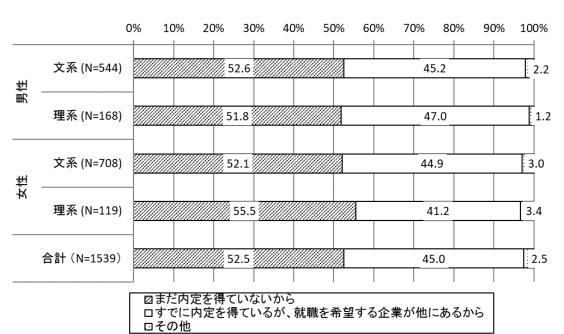
サンプル全体(図表 2-70)で見ると、現在就職活動を続けている理由が、「まだ内定を得ていないから」であるのは、もっとも割合が高い男性の理系学生で約 56.9%、もっとも割合が低い女性の文系学生で約 52.4%、合計では約 53.3%である。「すでに内定を得ているが、就職を希望する企業が他にあるから」であるのは、もっとも割合が高い男性の文系学生で約 45.0%、もっとも割合が低い男性の理系学生で約 41.0%、合計では約 44.0%である。





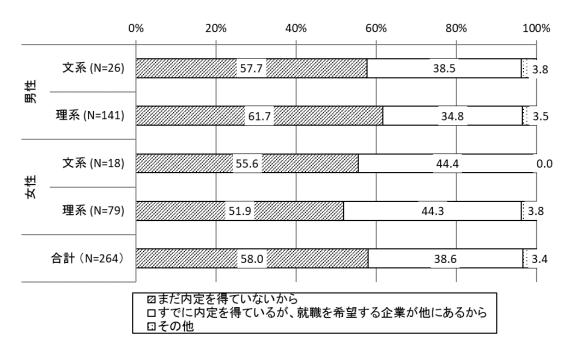
学部 4 年生の現在就職活動を続けている理由(図表 2-71)は、サンプル全体と同様の傾向だが、サンプル全体に比べ、男性の理系学生で「まだ内定を得ていないから」の割合(約 51.8%)がやや低く、女性の理系学生で同理由の割合(約 55.5%)がやや高い。

大学院生(修士課程)の現在就職活動を続けている理由(図表 2-72)は、サンプル全体と比べ、男性の理系学生で「まだ内定を得ていないから」の割合(約 61.7%)が高く、女性の理系学生で同理由の割合(約 51.9%)がやや低くなっている。



図表 2-71 現在就職活動を続ける理由(学部 4年生、性別、文理系別、単位:%)

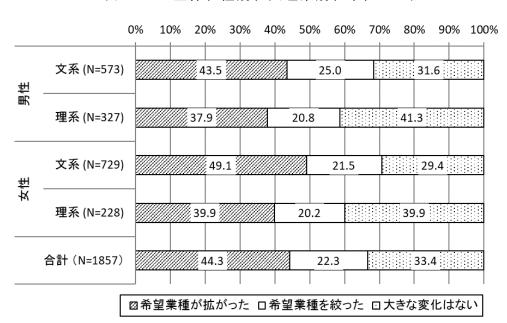
図表 2-72 現在就職活動を続ける理由 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)



2 希望する業種の変化

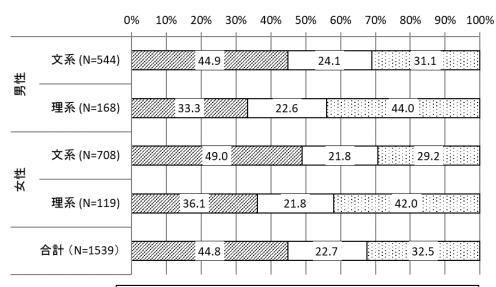
サンプル全体(図表 2-73)で見ると、現在就職活動を続けている学生のうち「希望する業種が拡がった」学生は、男性の学生で約 43.5%(文系)および約 37.9%(理系)、女性の理系学生で約 39.9%、女性の文系学生で約 49.1%、合計で約 44.3%である。一方、「希望する業種を絞った」学生は、男性の文系学生で約 25.0%、男性の理系学生で約 20.8%、女性の学生で約 21.5%(文系)および約 20.2%(理系)、合計で 22.3% である。

図表 2-73 現在就職活動を続けている学生の希望業種の変化 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



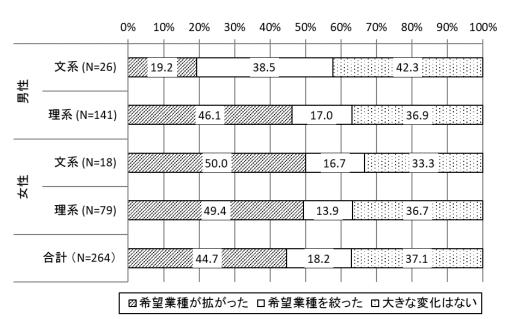
学部 4 年生のうち現在就職活動を続けている学生(図表 2-74)では、サンプル全体(図表 2-73)に比べ、理系の学生で「希望業種が拡がった」割合(男性:約 33.3%、女性:約 36.1%)が低く、「希望業種を絞った」および「大きな変化がない」割合(男性:約 22.6%、女性:約 21.8%、および男性:約 44.0%、女性:約 42.0%)が高い。大学院生(修士課程)のうち現在就職活動を続けている学生(図表 2-75)では、サンプル全体に比べて、理系の学生で「希望業種が拡がった」割合(男性:約 46.1%、女性:約 49.4%)が高く、「希望業種を絞った」および「大きな変化がない」割合(約 男性:約 17.0%、女性:約 13.9%、および男性:約 36.9%、女性:約 36.7%)が低くなっている。

図表 2-74 現在就職活動を続けている学生の希望業種の変化 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)



☑希望業種が拡がった □希望業種を絞った □大きな変化はない

図表 2-75 現在就職活動を続けている学生の希望業種の変化 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)



-54-

サンプル全体において、現在就職活動を続けている学生のうち「希望業種を拡げた」 学生がどのように希望業種を変化させたかを確認すると、就職活動開始時(図表 2-76)から現在(図表 2-77)にかけて機械、精密・医療機器、ソフトウェア・情報処理・ネット関連に希望業種を拡げている。

図表 2-76 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を拡げた学生の就職活動開始時の希望業種 (サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・パルプ	化学·石油	薬品・化粧品	セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系(N=249)	8.0			10.4						
	理系 (N=124)	16.9		5.6	6.5	2.4					
女性	文系(N=358)	3.1		6.1	15.1	7.5					
	理系(N=91)	19.8			3.3	2.2					
合計(N=822)	8.5	30.2	7.1	11.1	5.1				4.3	7.1
		機械	プラント・エン ジニアリング	OA機器	輸送用機器	精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品		総合商社	商社
男性	文系	10.8		9.2		8.0					
	理系	12.9				11.3					
女性	文系	5.6	1.1	7.3	5.3	7.0	17.0	9.5	3.6	16.8	19.0
	理系	4.4			1.1	13.2		5.5	4.4	4.4	7.7
合計		8.2	4.4	10.2	8.6		11.4	8.0	4.3	12.5	17.5
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行・証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リース・ その他金融	生保·損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	10.8	4.0	25.7	13.3	12.0	8.4	12.4	19.3	10.0	10.0
	理系	1.6	0.8	6.5	4.0	0.8	3.2	4.8	11.3	3.2	9.7
女性	文系	11.2	7.5	22.6	11.2	7.5	8.9	8.1	14.5	6.4	5.6
	理系	3.3		3.3	1.1	0.0			4.4	1.1	
合計		8.8	4.9	19.0	9.6	7.1	7.2	8.5	14.4	6.4	7.5
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サービス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメン ト・レジャー	冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系	2.8	10.8	2.0	2.0	0.8	4.8	1.6	2.8	6.0	4.0
	理系	0.8	2.4	0.8	0.0	0.8	2.4	0.0	3.2	8.9	0.8
女性	文系	2.0	15.1	5.9	4.5	1.4	6.4	4.2	2.0	4.7	7.0
	理系	4.4		9.9	2.2	1.1	0.0				
合計		2.3		4.4	2.8	1.1	4.6	2.4	2.4	6.0	4.6
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	非該当
男性	文系	4.4		5.6							
	理系	5.6		4.0		5.6					
女性	文系	12.3	8.4	4.2	4.2	20.7	27.7	11.5	18.4	1.1	3.4
	理系	4.4		1.1	1.1	4.4					
合計		8.0	10.9	4.3	4.7	14.0	16.9	7.3	19.6	1.2	3.4

図表 2-77 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を拡げた学生の現在の希望業種

(サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産	Ē	食品	建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品・化粧品	ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系(N=249)		8.0	21.3	10.4	11.2	4.0	6.4	16.5	6.8	7.6	11.2
	理系(N=124)		19.4	28.2	13.7	12.9	4.8	15.3	29.0	19.4	13.7	16.9
女性	文系(N=358)		7.0	20.4	12.6	14.0	9.2	8.8	98.4	9.5	4.7	10.6
	理系(N=91)		19.8	46.2	6.6	3 4.4	2.2	6.6	25.3	37.4	5.5	2.2
合計	(N=822)		10.6	24.7	11.4	11.9	6.2	8.8	9 15.8	13.3	7.1	10.8
		機械		プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系		15.3	8.8		8.4	8.8	8.0	8.8	3.6	13.3	25.3
	理系		20.2	13.7		_		-				8.9
女性	文系		11.7	5.9								
	理系		4.4	6.6								
合計			13.3	8.0) 12.7	8.8		13.1	1 7.2	5.7	11.7	22.1
		百貨店・ スーパー・ コンビニ		専門店	銀行•証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リース・ その他金融	生保·損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系		12.0	6.8	21.7	9.6	8.0	8.0	12.9	15.3	12.0	10.0
	理系		7.3	4.0	4.8	1.6	2.4	3.2	2 4.0	13.7	6.5	10.5
女性	文系		10.3	7.0	16.5	10.6	7.8	11.5	5 10.3	8.7	7.3	6.1
	理系		2.2	1.1	6.6	1.1	1.1	3.3	3 5.5	5 4.4	1.1	6.6
合計			9.5	5.8	3 15.2	7.9	6.3			10.9	7.9	8.0
		レストラン 給食・フー サービス		ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サービス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメン ト・レジャー	, 冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系		5.2	7.2	2 3.2	3.2	1.2	5.2	2 2.0	4.0	8.8	6.4
	理系		3.2	3.2	2 1.6	1.6	0.0	3.0	3.0	3 4.0	14.5	5.6
女性	文系		3.1	8.1	9.5	6.4	2.8	7.3	3.6	6.4	8.1	12.3
	理系		6.6	2.2			0.0	0.0	2.2	! 1.1	11.0	
合計			4.1	6.4		2 4.1	1.6	4.9	2.6	4.7	9.6	9.2
		教育		ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	非該当
男性	文系		5.6	18.9	4.0	6.0	8.4	9.6	6 4.4	18.5	2.4	
	理系		6.5	28.2	4.0	14.5	4.8	6.5	5 1.6	15.3	1.6	
女性	文系		10.9	22.3			11.5	17.9				
	理系		5.5	27.5	1.1	4.4	6.6	12.1	1 3.3	30.8	3.3	
合計			8.0	22.7	3.4	8.4	9.0	13.0	5.2	! 18.5	2.3	4.4

学部 4 年生で現在就職活動を続けている学生のうち「希望業種を拡げた」学生がどのように希望業種を変化させたかを確認すると、就職活動開始時(図表 2-78)から現在(図表 2-79)にかけてソフトウェア・情報処理・ネット関連に希望業種を拡げている。

図表 2-78 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を拡げた学生の就職活動開始時の希望業種

(学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林•水産	食品	建設• 設備関連	インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品・化粧品	セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=244)	8.2	23.0	9.4		4.1	7.8	8.6	7.4	5.7	9.4
	理系(N=56)	21.4			8.9	3.6				3.6	li li
女性	文系 (N=347)	3.2	28.5	6.1	14.7	7.2	6.	1 5.5	9.5	1.7	6.1
	理系 (N=43)	25.6	67.4	2.3	2.3	4.7	4.	7 11.6	23.3	0.0	
合計	(N=690)	7.8	28.8	7.1	12.0	5.7				3.2	7.0
		機械	プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器		精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品		総合商社	商社
男性	文系	11.1	6.1	8.6	11.1	8.2	. 7.	4 9.8	4.9	13.9	25.4
	理系	14.3	7.1	21.4	21.4	5.4	7.	1 3.6	3.6	1.8	7.1
女性	文系	5.8	1.2	7.2	5.5	7.2	16.	7 9.5	3.7	16.7	18.2
	理系	2.3	0.0	4.7	0.0	11.6	4.	7 4.7	0.0	9.3	9.3
合計		8.1	3.3	8.7			11.9	9.8	3.9	14.1	19.3
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	専門店	銀行•証券	信金·罗金· 信組	クレジット・ 信販・リース・ その他金融	生保・損保	不動産	鉄道•航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	11.1	4.1	25.4	13.5	11.9	8.3	2 12.7	19.3	9.8	10.2
	理系	3.6	1.8	5.4	3.6	0.0	1.3	3 5.4	14.3	3.6	8.9
女性	文系	10.4	7.2	22.8	11.0	7.2	9.:	2 8.4	15.0	6.6	5.8
	理系	7.0	2.3	4.7	2.3	0.0	2.3	3 2.3	2.3	0.0	0.0
合計		9.9	5.4	21.2	10.7	7.8	7.	9.3	15.7	7.1	7.2
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅行	医療機関• 調剤薬局	福祉サービス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメント・レジャー	⁷ 冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系	2.9	10.7	2.0	2.0	8.0	4.	9 1.6	2.9	5.7	3.7
	理系	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.	6.0	7.1	8.9	1.8
女性	文系	2.0	15.0	5.8	4.3	1.4	6.	3.7	2.0	3.5	6.6
	理系	9.3	2.3	7.0	4.7	2.3	0.0	2.3	2.3	9.3	2.3
合計		2.6		4.1	3.2	1.2	5.	4 2.6	2.8	5.1	4.9
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト		マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	非該当
男性	文系	4.5	12.3	5.7	5.3	12.3	11.	1 5.3	20.1	1.2	
	理系	5.4	25.0	7.1	10.7	5.4	8.9	9 1.8	19.6	0.0	3.6
女性	文系	12.1	8.6	4.3	4.0	21.0	27.	4 11.5	18.7	1.2	3.5
	理系	4.7	9.3	2.3	2.3	7.0	9.	7.0	16.3	0.0	4.7
合計		8.4	11.3	4.9	4.9	15.8	19.0	0 8.3	19.1	1.0	3.9

図表 2-79 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を拡げた学生の現在の希望業種 (学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産	食品	建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品・化粧品	セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=244)	8.	2 21.7	7 10.7	11.5	4.1	6.1	16.0	7.0	7.0	11.5
	理系(N=56)	12.	5 19.6	16.1	14.3	5.4	7.1	16.1	7.1	10.7	14.3
女性	文系(N=347)	7.	2 20.5	12.4	14.1	9.2	8.6	8.4	9.2	4.9	10.4
	理系 (N=43)	27.	9 53.5	2.3	2.3	2.3	11.6	14.0	25.6	4.7	0.0
合計	(N=690)	9.	3 22.9) 11.4	12.5	6.7	7.8	12.0	9.3	6.1	10.4
		機械	プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器	自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	カー・製造	総合商社	商社
男性	文系	15.	6 9.0) 15.2	8.2	8.6	7.8	9.0	3.7	12.7	25.4
	理系	19.	6 8.9	17.9	16.1	17.9	8.9	5.4	10.7	10.7	14.3
女性	文系	11.	8 5.5	5 8.4	6.9	9.5	18.2	. 7.8	5.2	13.8	28.0
	理系	2.	3 2.3	3 4.7	7.0	11.6	16.3	4.7	7.0	2.3	9.3
合計		13.	2 6.8	3 11.3	8.1		13.6	7.8	5.2	12.5	24.8
		百貨店・ スーパー・ コンビニ		郵 行*証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リース・ その他金融	生保·損保		鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	11.									
	理系	14.	3 8.9	1.8	1.8	1.8	3.6	3.6	10.7	8.9	10.7
女性	文系	10.	1 6.9) 16.7	10.7	7.8	11.5	11.5	8.6	7.5	6.3
	理系	4.	7 2.3	3 11.6	2.3			4.7	7.0	2.3	
合計		10.	7 6.8	3 16.7	9.1			9.3	11.0	9.0	7.8
		レストラン・ 給食・フード サービス	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サービス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメン ト・レジャー	冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	7.8 人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系	5.	3 7.4	3.3	3.3	1.2	5.3	2.0			6.6
	理系	5.	4 5.4	1.8	3.6	0.0	1.8	1.8	7.1	21.4	10.7
女性	文系	2.			6.3	2.6	7.2	3.5			12.1
	理系	9.			2.3	0.0	0.0			9.3	14.0
合計		4.			4.8	1.7	5.7	2.9	5.1	8.6	10.1
		教育	ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	
男性	文系	5.									
	理系	8.									
女性	文系	11.									
	理系	7.									
合計		8.	7 22.3	3.5	8.0	10.0	13.8	5.8	17.4	2.5	4.9

サンプル全体において、現在就職活動を続けている学生のうち「希望業種を絞った」 学生がどのように希望業種を変化させたかを確認すると、就職活動開始時(図表 2-80)から現在(図表 2-81)にかけて官公庁・公社・団体に希望業種を絞っている。

図表 2-80 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を絞った学生の就職活動開始時の希望業種 (サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		食品	建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学・石油		ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=143)		7.7	26.6								
	理系(N=68)		6.2	29.4								
女性	文系(N=157)		3.8	31.2								
	理系(N=46)		1.7	56.5								
合計	(N=414)		9.2	32.1	8.7	11.4	6.8	9.4	11.4	14.7	5.8	6.8
		機械		プラント・エン ジニアリング		自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系	1	4.0	5.6	8.4	9.8	8.4	10.5	14.7	9.8	21.0	18.9
	理系	1	9.1	11.8	27.9	11.8	20.6	7.4	14.7	2.9	7.4	7.4
女性	文系		7.6	1.9	2.5	5.7	8.3	18.5	12.7	5.1	15.9	21.7
	理系		6.5	4.3	2.2	2.2	8.7	6.5	6.5	0.0	6.5	6.5
合計			1.6	5.1	8.7	7.7	10.4	12.6	13.0	5.8	15.2	16.7
		百貨店・ スーパー・ コンビニ		専門店	銀行•証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リース・ その他金融	生保·損保	不動産	鉄道・航空	陸運·海運· 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系	1	7.5	10.5	24.5	14.0	8.4	9.8	16.1	25.2	13.3	11.2
	理系		5.9	4.4	8.8	5.9	2.9	4.4	1.5	13.2	5.9	8.8
女性	文系	1	5.9	9.6	26.1	17.2	8.9	10.8	15.3	19.7	7.6	5.7
	理系	1	3.0	6.5			0.0	2.2	6.5	6.5	0.0	
合計			4.5	8.7	21.0	12.8	6.8			19.1	8.5	7.7
		レストラン・ 給食・フート サービス		ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サービス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容		冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系		2.1	16.1	2.8	3.5	2.1	4.9	2.1	4.9	12.6	7.7
	理系		1.5	1.5	10.3	0.0	0.0	2.9	0.0	1.5	4.4	1.5
女性	文系		5.1	24.2								
	理系		6.5	6.5								
合計			3.6	15.7	8.5	3.6	1.9	6.8	5.1	3.4	8.2	7.7
		教育		ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	非該当
男性	文系		4.0	21.0								
	理系		5.9	22.1	8.8	16.2	2.9	2.9	1.5	30.9	0.0	
女性	文系	1	2.7	19.7	8.3	3 4.5	17.8	26.1	11.5	20.4	1.3	5.7
	理系		4.3	4.3	6.5	6.5	2.2	4.3	4.3	43.5	2.2	2.2
合計		1	1.1	18.8	7.5	6.8	12.1	15.7	7.0	29.0	1.9	6.0

図表 2-81 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を絞った学生の現在の希望業種

(サンプル全体、	複数回答可、	性別、	文理系別、	単位:	%)
----------	--------	-----	-------	-----	----

		農林・水産		食品	建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・服飾関連		繊維・紙・ パルプ	化学·石油	薬品・化粧品	セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=143)		1.4	9.1				2.1					
l	理系 (N=68)		0.3	11.8				0.0					
女性	文系 (N=157)		1.9	10.8				3.2					
	理系 (N=46)		8.7	17.4				0.0					
合計	(N=414)		3.9	11.1	3.4	4 3.	9	1.9				1.0	3.1
		機械		プラント・エン ジニアリング	電子・電気・ OA機器	自動車• 輸送用機器	精密• 医療機器		印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系		3.5	0.0) 4.3	2 2.	1	2.1	4.9	9 2.8	2.1	3.5	
	理系		7.4	4.4	10.	3 1.	5	5.9	1.5	5 4.4	2.9	4.4	
女性	文系		3.8	1.3	3 1.3	3 1.3	3	3.8	5.7	7 1.3	1.3	5.1	
	理系		0.0	0.0	2.5	2 0.0)	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計			3.9	1.2	2 3.9	9 1.		3.4	4.	1 2.2	1.7	3.9	7.2
		百貨店・ スーパー・ コンビニ	:	専門店	銀行·証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リー その他金融	ス・	生保·損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系		5.6	3.5				2.1	2.				
	理系		2.9	0.0				0.0					
女性	文系		7.0	5.1				1.9					
	理系		6.5	4.3				0.0					
合計			5.8	3.6	8.9	5 4.		1.4			5.6		1.7
		レストラン・ 給食・フー サービス		ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サービス	フィットネス 、ラブ・エス- 理美容	マクラ・	アミューズメン ト・レジャー	[,] 冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系		0.0	3.5	5 0.	7 3.	5	0.7	2.	I 0.7	3.5	7.0	5.6
	理系		0.0	0.0	7.4	4 1.5	5	0.0	0.0	0.0	1.5	i 4.4	1.5
女性	文系		1.9	5.7	3.1	2 2.	5	0.6	2.	5 1.3	5.1	2.5	1.9
	理系		2.2	0.0	26.	1 0.0)	0.0	0.0	0.0	2.2	4.3	
合計			1.0	3.4		3 2.	1	0.5	1.3	7 0.7	3.6	4.6	3.1
		教育		ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放送・新聞)	Þ	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	非該当
男性	文系		7.0	17.5				7.0					
	理系		1.5	19.1				2.9					
女性	文系		3.4	15.3				4.5					
	理系		0.0	4.3				0.0					
合計			7.7	15.5	2.	7 4.	3	4.6	5.6	3.9	24.4	1.7	2.4

学部 4 年生で現在就職活動を続けている学生のうち「希望業種を絞った」学生がどのように希望業種を変化させたかを確認すると、就職活動開始時(図表 2-82)から現在(図表 2-83)にかけて食品、ソフトウェア・情報処理・ネット関連、官公庁・公社・団体に希望業種を絞っている。

図表 2-82 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を絞った学生の就職活動開始時の希望業種 (学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

		農林・水産		食品	建設• 設備関連	住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連	繊維・紙・ パルプ	化学・石油		ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系(N=131)		7.6	26.7								
	理系(N=38)		15.8	28.9								
女性	文系(N=154)		3.9	31.8								
	理系(N=26)		15.4	73.1								
合計	(N=349)		7.4	32.7	9.2	12.3	8.0		0.0		4.3	6.3
		機械		プラント・エン ジニアリング		自動車・ 輸送用機器	精密• 医療機器	印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ・ 玩具・ ゲーム製品	その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系		14.5	6.1		9.9	7.6	10.7	16.0	10.7	20.6	
	理系		15.8	10.5	26.3	7.9	15.8	7.9	23.7	2.6	7.9	7.9
女性	文系		7.1	1.9							15.6	
	理系		3.8	3.8	0.0	0.0	7.7	3.8	11.5	0.0	11.5	11.5
合計			10.6	4.6	7.4	7.2	0.0	13.2	14.9	6.3	16.3	18.3
		百貨店・ スーパー コンビニ		専門店	銀行·証券	信金·労金· 信組	クレジット・ 信販・リース・ その他金融	生保·損保	不動産	鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	電力・ガス・ エネルギー
男性	文系		19.1	10.7	25.2	13.7				26.7	13.7	11.5
	理系		10.5	7.9				7.9	2.6			
女性	文系		16.2	9.7	26.6	17.5	9.1	11.0	15.6	20.1	7.1	5.8
	理系		19.2	7.7			0.0					
合計			16.9	9.7	24.1	14.6	8.0			20.6	9.5	7.7
		レストラン 給食・フー サービス	ード	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局	福祉サービス	フィットネスク ラブ・エステ・ 理美容	アミューズメン ト・レジャー	冠婚葬祭	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系		2.3	17.6	2.3	3.1	2.3	5.3	2.3	4.6	11.5	6.9
	理系		2.6	2.6	5.3	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.3	3 2.6
女性	文系		5.2	24.7								
	理系		11.5	7.7			3.8					
合計			4.3	18.3	6.0	3.7	2.3	8.0	5.7	3.2	8.0	8.3
		教育		ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連	ゲームソフト	通信	マスコミ(放 送・新聞)	マスコミ(出 版・広告)	芸能・エンタ テインメント	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	非該当
男性	文系		13.7	22.1								
	理系		7.9	26.3								
女性	文系		12.3	18.8	8.4	4.5	18.2	25.3	11.7	20.1	1.3	5.8
	理系		3.8	3.8								
合計		l	11.7	19.8	8.0	6.9	12.9	17.5	7.7	26.1	2.3	7.2

図表 2-83 現在就職活動を続けている学生のうち 希望業種を絞った学生の現在の希望業種

(学部 4 年生、複数回答可、性別	刂、又埋糸別、	単位:	%)
-------------------	---------	-----	----

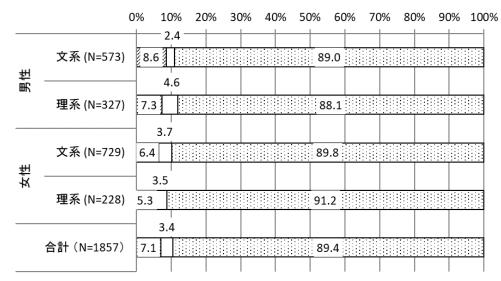
		農林・水産		食品	建設• 設備関連		住宅・ インテリア	アパレル・ 服飾関連		繊維・紙・ パルプ	化学·石氵	曲	薬品•化粧品	ゴム・ ガラス・ セラミックス	鉄鋼·金属· 鉱業
男性	文系 (N=131)		1.5	9.9	9 3	8.8	5.3		2.3	3	.1	3.8	3.8	0.8	
	理系(N=38)	10	0.5	10.5	5 7	.9	2.6		0.0		.0	2.6	2.6	0.0	
女性	文系(N=154)		1.9	11.0		.3	4.5		3.2			1.3			
	理系(N=26)	;	3.8	26.9	9 3	8.8	0.0		0.0	0	.0	0.0	7.7	0.0	
合計	(N=349)		2.9	11.7	7 3	3.2	4.3		2.3		.7	2.3		0.3	2.3
		機械		プラント・エン ジニアリング			自動車・ 輸送用機器	精密・ 医療機器		印刷・ 事務機器・ 日用品	スポーツ 玩具・ <u>ゲーム製</u>		その他メー カー・製造 関連	総合商社	商社
男性	文系	;	3.1	0.0) 4	.6	2.3		1.5	5	.3	3.1			
	理系	,	7.9	2.6	3 7	.9	2.6		7.9	0	.0	7.9	2.6	0.0	
女性	文系	;	3.9	1.3	3 1	.3	1.3		3.9	5	.8	1.3	1.3	5.2	
	理系		0.0	0.0) (0.0	0.0		0.0	0	.0	0.0	0.0	0.0	7.7
合計			3.7	0.9	9 3	3.2	1.7		3.2	4	.6	2.6	1.7	3.2	8.0
		百貨店・ スーパー・ コンビニ		専門店	銀行・証券		信金·労金· 信組	その他金融	ス・	生保・損保			鉄道・航空	陸運・海運・ 物流	エネルギー
男性	文系		6.1	3.8		9.9			2.3		.3	4.6			
	理系		5.3	0.0).5			0.0	0	.0	0.0			
女性	文系		7.1	5.2	2 10).4	7.1		1.9	7	.1	5.8	7.8	5.8	1.3
	理系		1.5	7.7	7 3	8.8	3.8		0.0	0	.0	3.8	3.8	0.0	
合計			6.9	4.3	3 9	.7	5.4		1.7			4.6	6.3		1.7
		レストラン・ 給食・フート サービス	ž	ホテル・旅行	医療機関・ 調剤薬局		福祉サービス	フィットネス ラブ・エス- 理美容	くク テ・	アミューズメ	ン 冠婚葬祭	:	専門・その他 サービス	コンサルティ ング・シンクタ ンク・調査	人材サービス (派遣・紹介)
男性	文系	(0.0	3.8	3 (8.0	3.8		8.0	2	.3	0.8	3.8	6.1	4.6
	理系	(0.0	0.0) 5	5.3	2.6		0.0	0	.0	0.0	0.0	5.3	0.0
女性	文系		1.9	5.8		3.2			0.6	2	.6	1.3			
	理系	;	3.8	0.0	23	3.1	0.0		0.0	0	.0	0.0			
合計			1.1	4.0		.0	2.9		0.6	2	.0	0.9	3.7	4.0	2.6
		教育		ソフトウエア・ 情報処理・ ネット関連			通信	マスコミ(放送・新聞)		マスコミ(出 版・広告)		ト	官公庁・ 公社・団体	これら以外の その他	
男性	文系		6.9	18.3		5.3			6.1	-		3.8			
	理系		2.6	28.9		2.6			5.3			0.0			
女性	文系		3.0	14.9		.9	3.2		4.5			2.6			
	理系		0.0	3.8		0.0			0.0		-	3.8			
合計			8.6	16.9	9 3	3.2	4.9		4.9	6	.6	2.9	21.5	2.0	2.9

3 希望する働き方の変化

サンプル全体(図表 2-84)で見ると、現在就職活動を続けている学生の希望する働き方に「大きな変化がない」学生は、もっとも割合が高い女性の理系学生で約 91.2%、もっとも割合が低い男性の理系学生で約 88.1%、全体では約 89.4%である。「限定正社員や契約社員から(限定のない)一般の正社員希望に変えた」学生は、もっとも割合が高い男性の文系学生で約 8.6%、もっとも割合が低い女性の理系学生で約 5.3%、全体では約 7.1%である。「一般の正社員から限定正社員や契約社員希望に変えた」学生は、5%に満たない(もっとも割合が高い男性の理系学生で約 4.6%、もっとも割合が低い男性の文系学生で約 2.4%、全体では約 3.4%)。

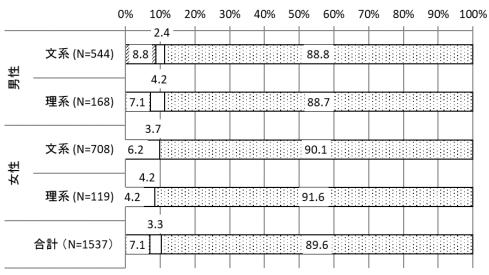
学部 4 年生(図表 2-85) および大学院生(修士課程)(図表 2-86) のうち現在就職活動を続けている学生においても、サンプル全体と同様の傾向である。

図表 2-84 現在就職活動を続けている学生の希望する働き方の変化 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



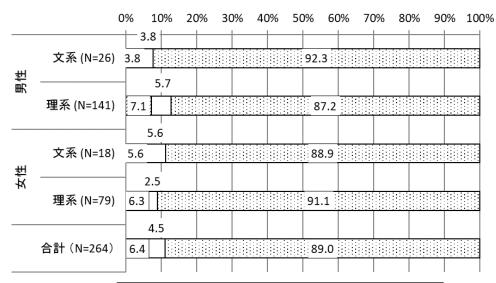
図限定正社員や契約社員から一般の正社員希望に変えた □一般の正社員から限定正社員や契約社員に変えた □大きな変化はない

図表 2-85 現在就職活動を続けている学生の希望する働き方の変化 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)



図限定正社員や契約社員から一般の正社員希望に変えた ロ一般の正社員から限定正社員や契約社員に変えた ロ大きな変化はない

図表 2-86 現在就職活動を続けている学生の希望する働き方の変化 (大学院生 (修士課程)、性別、文理系別、単位:%)



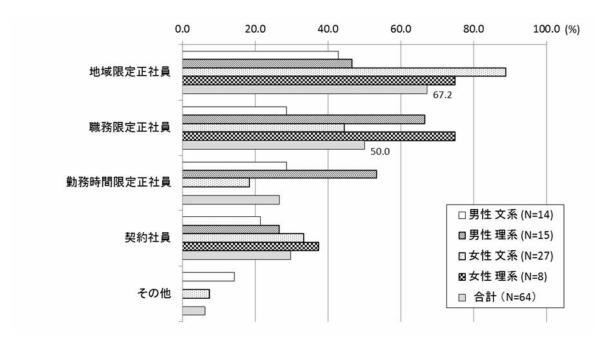
図限定正社員や契約社員から一般の正社員希望に変えた ロー般の正社員から限定正社員や契約社員に変えた ロ大きな変化はない

サンプルサイズが小さいため参考程度に示すが、サンプル全体(図表 2-87)で見ると、現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を(限定のない)一般の正社員から地域限定正社員に変えた学生は合計で約 67.2%、職務限定正社員に変えた学生は合計で約 50.0%である。

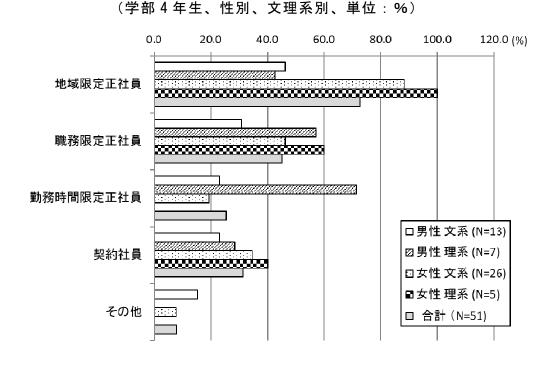
なお、サンプルサイズが小さいためやはり注意が必要だが、学部 4 年生の現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を一般の正社員から限定正社員や契約社員に変えた学生についても、サンプル全体と同様の傾向である(図表 2-88)。

図表 2-87 現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を一般の正社員から 限定正社員や契約社員に変えた学生の現在希望する働き方

(サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



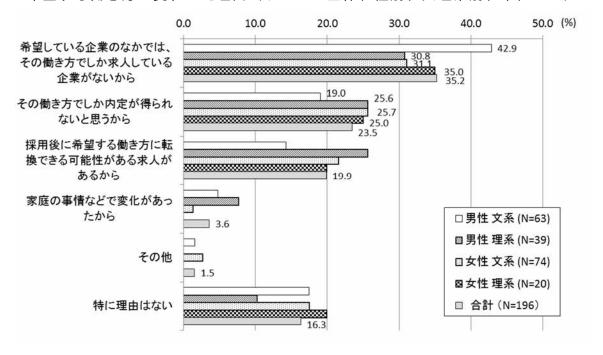
図表 2-88 現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を一般の正社員から 限定正社員や契約社員に変えた学生の現在希望する働き方

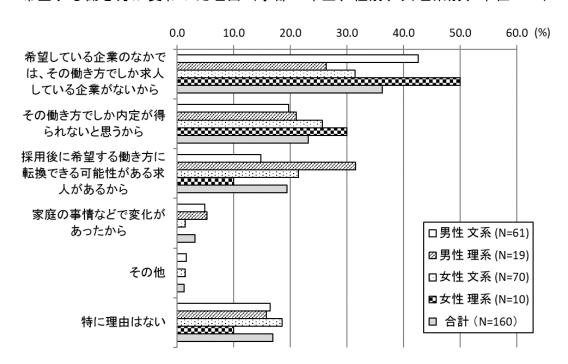


サンプル全体(図表 2-89)で見ると、現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を変えた学生の希望する働き方が変わった理由が、「希望している企業のなかでは、その働き方でしか求人している企業がないから」であるのは、もっとも割合が高い男性の文系学生で約 42.9%、もっとも割合が低い男性の理系学生で約 30.8%、合計では約 35.2%である。「その働き方でしか内定を得られないと思うから」という理由であるのは、もっとも割合が高い女性の文系学生で約 25.7%、もっとも割合が低い男性の文系学生で約 19.0%、合計では約 23.5%である。

なお、学部 4 年生で現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を変えた学生についても、サンプル全体と同様の傾向である(図表 2-90)。

図表 2-89 現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を変えた学生の 希望する働き方が変わった理由(サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)





図表 2-90 現在就職活動を続けている学生のうち働き方の希望を変えた学生の 希望する働き方が変わった理由(学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

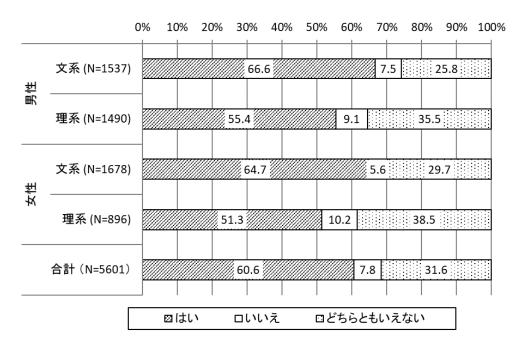
第6節 通年募集・秋季募集に対する学生の意向

サンプル全体(図表 2-91)で見ると、通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思う学生は、文系の学生で約 66.6% (男性)および約 64.7% (女性)、理系の学生で約 55.4% (男性)および約 51.3% (女性)、合計で約 60.6%である。「どちらともいえない」学生は、文系の学生で約 25.8% (男性)および約 29.7% (女性)、理系の学生で約 35.5% (男性)および約 38.5% (女性)、合計で約 31.6%である。

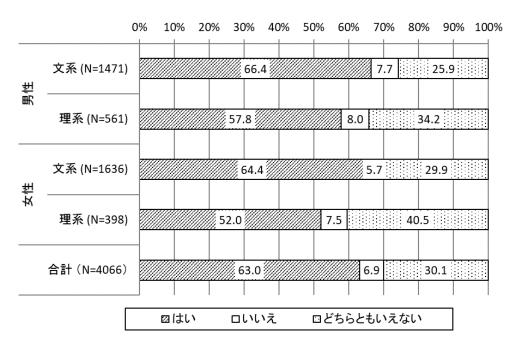
学部 4 年生については、サンプル全体と同様の傾向であるが、サンプル全体と比べ、通年募集・秋季募集が良いと思う理系の学生の割合(男性:約57.8%、女性:約52.0%)がやや高い(図表 2-92)。

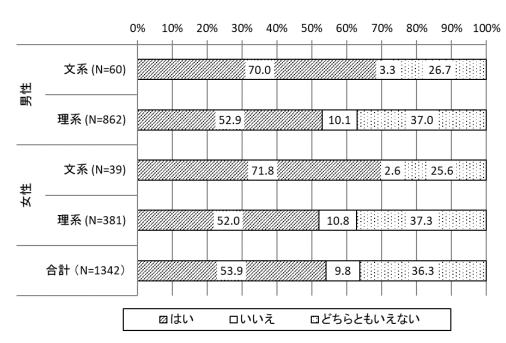
大学院生(修士課程)では、サンプル全体と同様の傾向であるが、サンプル全体と比べ、通年募集・秋季募集が良いと思う学生の割合がとりわけ文系の学生(男性:約70.0%、女性:約71.8%)で高い(図表2-93)。

図表 2-91 通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思うか (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-92 通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思うか (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)



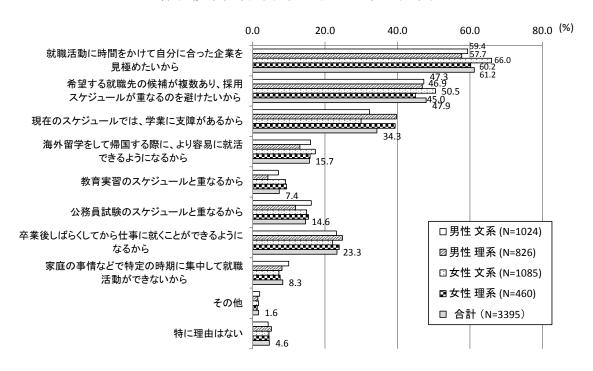


図表 2-93 通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思うか (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

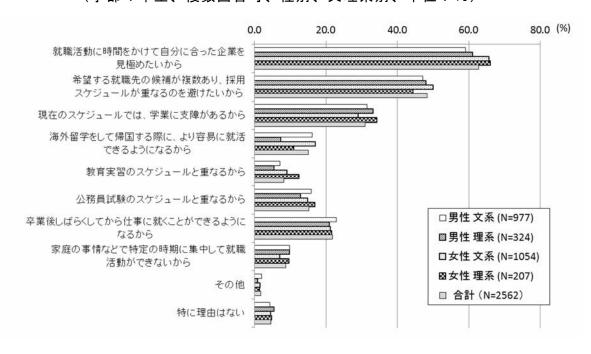
サンプル全体(図表 2-94)で見ると、通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思う学生のその理由が、「就職活動に時間をかけて自分に合った企業を見極めたいから」であるのは、もっとも割合が高い女性の文系学生で約 66.0%、もっとも割合が低い男性の理系学生で約 57.7%、合計で約 61.2%である。「希望する就職先の候補が複数あり、採用スケジュールが重なるのを避けたいから」であるのは、もっとも割合の高い女性の文系学生で約 50.5%、もっとも割合が低い女性の理系学生で約 45.0%、合計で約 47.9%である。

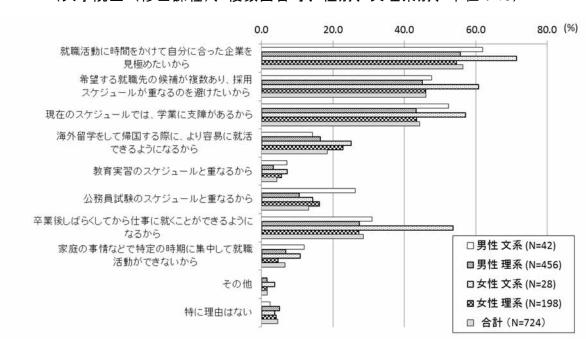
なお、学部 4 年生(図表 2-95) および大学院生(修士課程)(図表 2-96) で通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思う学生のその理由は、サンプル全体と同様の傾向である。ただし、大学院生(修士課程)の女性の文系学生の傾向がサンプル全体と異なるが、サンプルサイズが小さいため注意を要する。

図表 2-94 通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思う理由 (サンプル全体、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-95 通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思う理由 (学部 4 年生、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)





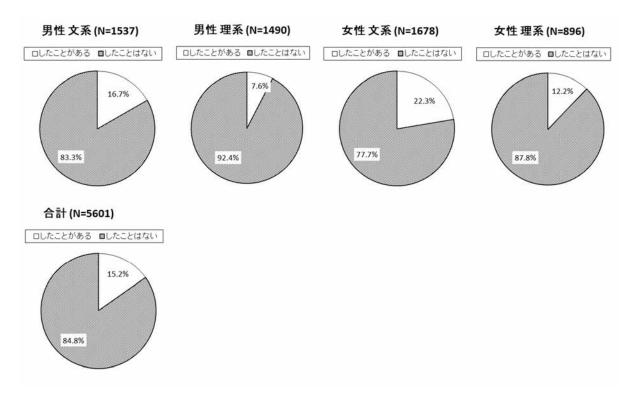
図表 2-96 通年募集・秋季募集を行う企業が多ければ良いと思う理由 (大学院生(修士課程)、複数回答可、性別、文理系別、単位:%)

第7節 海外留学の状況

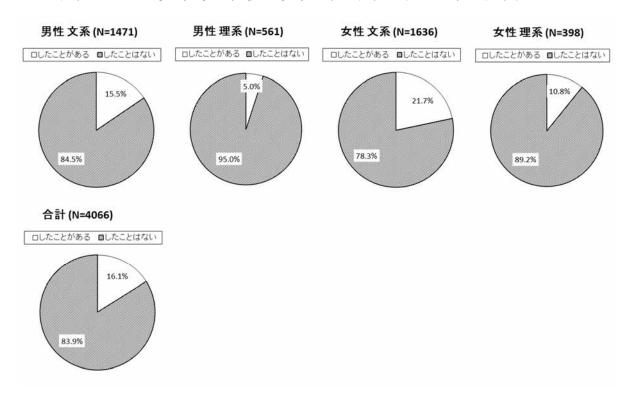
サンプル全体 (図表 2-97) で見ると、文系の学生の約 16.7% (男性) および約 22.3% (女性)、理系の学生の約 7.6% (男性) および約 12.2% (女性)、合計で約 15.2%が海外留学の経験がある。

学部 4 年生では、サンプル全体と同様の傾向であるが、サンプル全体と比べ、いずれの学生も海外留学を経験している割合(もっとも割合が高い女性の文系学生で約 21.7%、もっとも割合が低い男性の理系学生で約 5.0%、全体で約 16.1%) が低い(図表 2-98)。

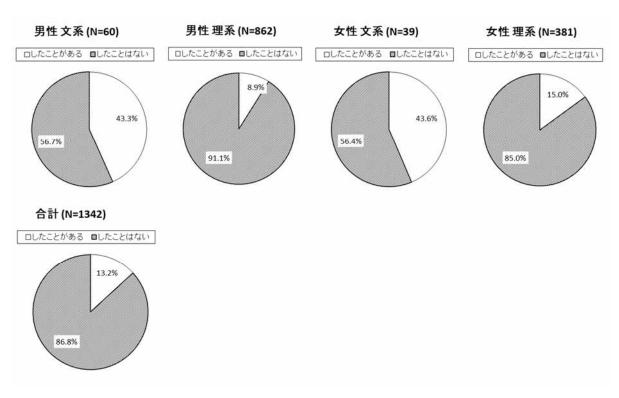
図表 2-97 海外留学の経験 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-98 海外留学の経験(学部 4年生、性別、文理系別、単位:%)



大学院生(修士課程)では、とりわけ文系学生のサンプルサイズが小さいため注意を要するが、文系の学生の約 43.3% (男性) および約 43.6% (女性)、理系の学生の約 8.9% (男性) および約 15.0% (女性)、合計で約 13.2%が海外留学を経験している(図表 2-99)。

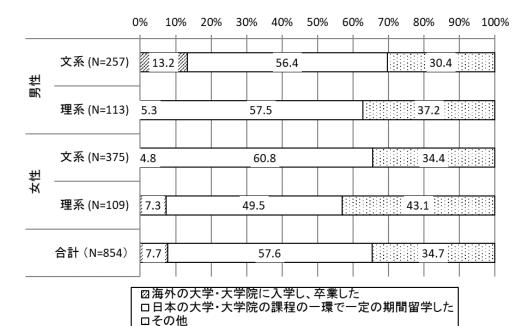


図表 2-99 海外留学の経験 (大学院生 (修士課程)、性別、文理系別、単位:%)

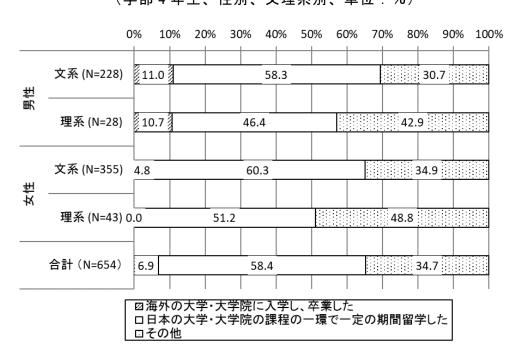
サンプル全体(図表 2-100)で見ると、海外留学をしたことがある学生のうち「日本の大学・大学院の課程の一環で一定の期間留学した」学生は、もっとも割合が高い女性の文系学生で約 60.8%、もっとも割合が低い女性の理系学生で約 49.5%、合計で約 57.6%である。「海外の大学・大学院に入学し、卒業した」学生は、もっとも割合が高い男性の文系学生で約 13.2%、もっとも割合が低い女性の文系学生で約 4.8%、合計で約 7.7%である。

学部 4 年生で海外留学をしたことがある学生の海外留学の形態では、文系の学生においてサンプル全体と同様の傾向である(図表 2-101)。理系の学生はサンプルサイズが小さいため、比較は行わない。

図表 2-100 海外留学をしたことがある学生の海外留学の形態 (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)

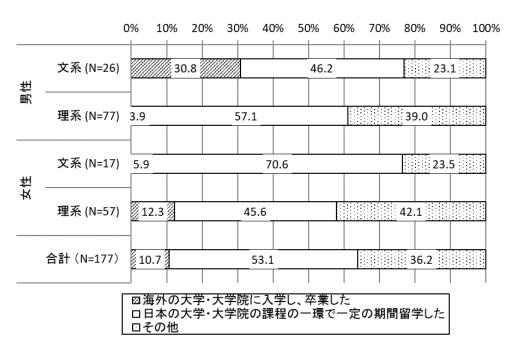


図表 2-101 海外留学をしたことがある学生の海外留学の形態 (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)



大学院生(修士課程)で海外留学をしたことがある学生の海外留学の形態では、サンプル全体に比べ、女性の理系学生で「海外の大学・大学院に入学し、卒業した」割合(約12.3%)がやや高い(図表 2-102)。なお、文系の学生の傾向がサンプル全体と異なるが、サンプルサイズが小さいため解釈に注意を要する。

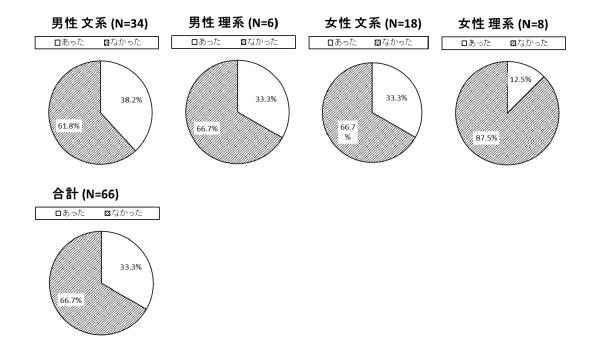
図表 2-102 海外留学をしたことがある学生の海外留学の形態 (大学院生(修士課程)、性別、文理系別、単位:%)



サンプルサイズが小さいため参考程度に示すが、サンプル全体(図表 2-103)で見ると、海外の大学・大学院に入学し、卒業した学生のうち海外留学終了時と採用スケジュールのミスマッチがあった学生は、合計で約 33.3%である。

やはりサンプルサイズが小さいため参考程度に示すが、学部 4 年生で海外の大学・大学院に入学し、卒業した学生のうち海外留学終了時と採用スケジュールのミスマッチがあった学生は、合計で約 33.3%である(図表 2-104)。

図表 2-103 海外留学をしたことがある学生の 海外留学終了時期と採用スケジュールのミスマッチ (サンプル全体、性別、文理系別、単位:%)



図表 2-104 海外留学をしたことがある学生の 海外留学終了時期と採用スケジュールのミスマッチ (学部 4 年生、性別、文理系別、単位:%)

